

令和元年度

文教厚生委員会説明資料
(所 管 事 務)

教 育 委 員 会

目 次

1	組 織 図 -----	1
2	令和元年度歳入歳出予算の総括 -----	7
	(1) 一 般 会 計 -----	7
	(2) 特 別 会 計 -----	8
3	繰越明許費の状況 -----	9
4	債務負担行為の状況 -----	9
5	重 点 事 業 -----	10
6	課 別 説 明 -----	
	(1) 教 育 政 策 課 -----	14
	(2) コンプライアンス推進室 -----	19
	(3) 施 設 整 備 課 -----	22
	(4) 教 育 創 生 課 -----	27
	(5) 教 職 員 課 -----	31
	(6) 福 利 厚 生 課 -----	37
	(7) 学 校 教 育 課 -----	41
	(8) グローバル・文化教育課 -----	46
	(9) 特別支援教育課 -----	50
	(10) 人 権 教 育 課 -----	53
	(11) 体育学校安全課 -----	57
	(12) 生 涯 学 習 課 -----	61
	(13) 文化の森振興本部 -----	64
	(14) 総合教育センター -----	72

1 組 織 図

教 育 委 員 会

教 育 長 美 馬 持 仁

教育長職務代理者 辻 貴 博

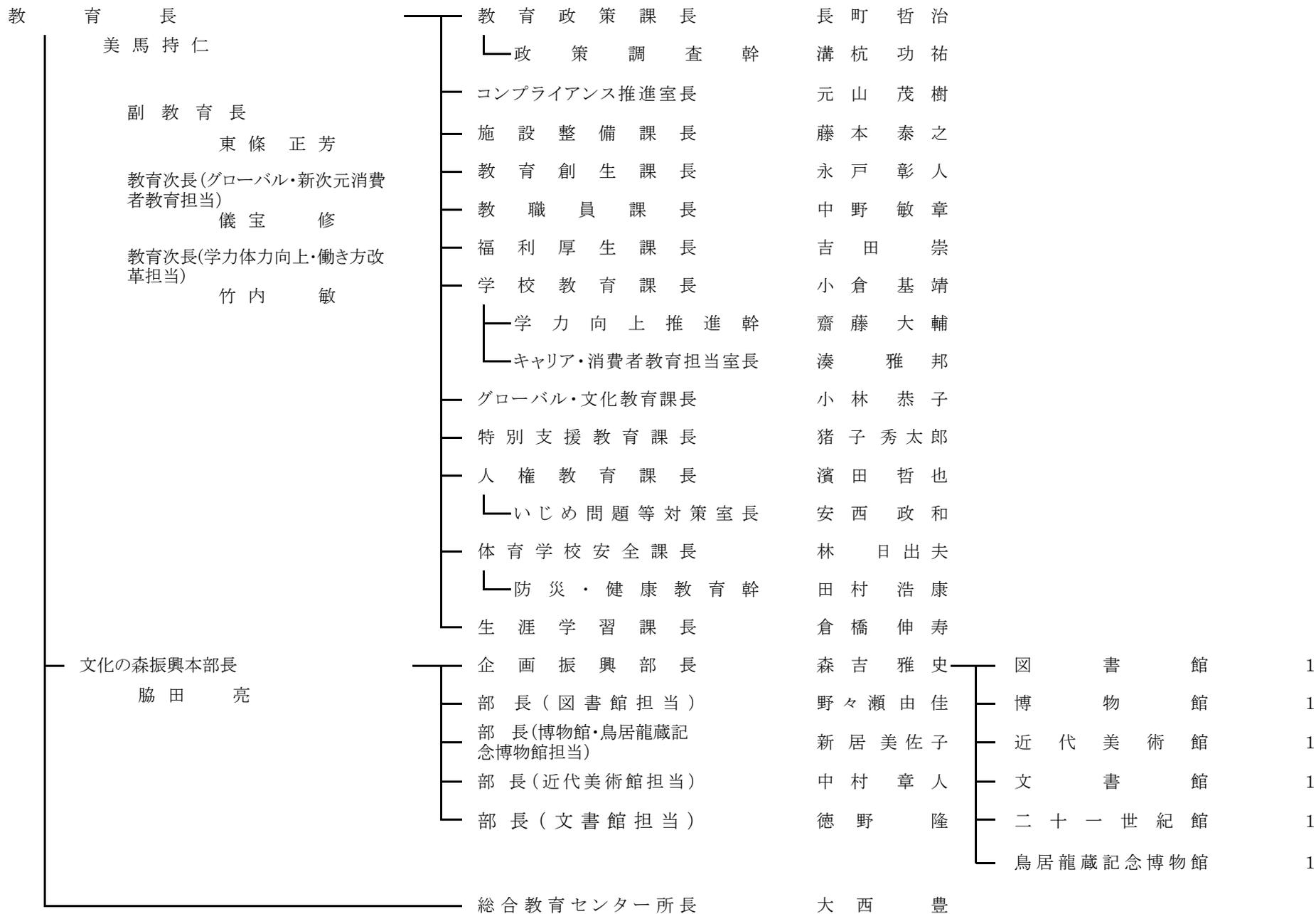
教育長職務代理者 藤 本 宗 子

委 員 小 林 信 行

委 員 河 口 雅 子

委 員 菊 池 健 次

教育委員会事務局



県立学校 城東高校ほか36校 職員総数2,508名

学 校 名	校 長	副 校 長	教 頭	事務(課・室)長	職員総数
城 東 高 等 学 校	青 山 佳 裕		久 米 田 憲 司	加 藤 隆 弘	62 名
			藤 川 美 和		
城 南 高 等 学 校	永 松 宜 洋		高 尾 博	内 村 真 二	62
			新 見 敏 彦		
城 北 高 等 学 校	小 山 勉 良		笠 谷 純 弘	美 保 洋 祐	64
			佐 山 哲 雄		
城ノ内高等学校	森 本 俊 明		岡 美 代 司	吉 岡 慶 治	54
			糸 木 秀 明		
徳島北高等学校	長 篠 俊 文		徳 永 誠	久 米 み どり	62
			向 井 佳 子		
城 西 高 等 学 校	小 原 史 明	阿 部 隆	大 久 保 芳 純	三 宅 昭 夫	84
			岩 見 孝 宏		
徳島科学技術高等学校	藤 本 和 史		永 濱 匡 敏	板 東 宏 典	133
			鎌 田 敏 文		
			山 田 正 之		
			島 田 章 伸		
徳島商業高等学校	森 本 泰 造		三 木 正 士	桑 村 真 由 美	62
			佐 尾 山 秀 樹		
徳島中央高等学校	大 住 満 寿 夫		野 田 耕 市 郎	志 宇 知 康 弘	61
			村 田 光		
			都 築 吉 則		
			濱 本 寛 信		
小 松 島 高 等 学 校	片 山 真 樹		堀 筋 隆 史	松 村 忠	47
			西 浦 利 幸		
小 松 島 西 高 等 学 校	寺 奥 敦 子		三 井 敏 之	板 東 久 夫	73
			川 上 教 夫		
			山 本 珠 紀		

学 校 名	校 長	副 校 長	教 頭	事務(課・室)長	職員総数
富岡東高等学校	宮井 玲夫		糸林 祐紀	中 村 順	75名
			宮本 千賀博		
			西 憲治		
			山村 圭子		
富岡西高等学校	吉田 光昭		横井 祥人	辻 泰次	54
			宮本 秀樹		
阿南光高等学校	西 裕治		大田 孝延	四 宮 哲也	74
			笠原 高志		
			堀田 哲也		
那賀高等学校	乾 修治		廣瀬 謡	株 田 博文	30
			原田 成一朗		
海部高等学校	藤川 卓司		木屋村 浩章	金 山 幸広	41
			阿部 憲市		
鳴門高等学校	山村 啓治		矢間 雅司	山 口 省吾	76
			池 渕 茂		
			安藝 憲志		
鳴門渦潮高等学校	藤井 敬久		平山 義朗	天 羽 勤	62
			吉岡 直彦		
板野高等学校	眞鍋 政文		蔭岡 弘知	栄 裕之	47
			中 崎 誠		
阿波高等学校	高原 清秀		中村 ゆかり	甲 斐 宏司	42
			瀧 川 卓		
名西高等学校	臼井 公仁		志摩 修司	北 村 昌史	51
			村山 恵子		
			多田 秀穂		
吉野川高等学校	桂 啓人		谷崎 公治	井 筒 利浩	52
			谷本 晃成		

学 校 名	校 長	副 校 長	教 頭	事務(課・室)長	職員総数
川 島 高 等 学 校	武 田 伊 織		森 康 晴	小 山 督 二	40 名
			横 田 恵 理 子		
阿 波 西 高 等 学 校	大 島 耕 司		高 曾 根 浩 三	井 上 雅 史	26
			平 山 隆 恵		
穴 吹 高 等 学 校	前 田 茂		向 井 和 博	猪 子 朱 美	29
			西 教 夫		
			高 曾 根 恵 子		
脇 町 高 等 学 校	藤 川 正 樹		寺 澤 康 文	石 川 茂 夫	47
			藤 本 秀 彰		
つ る ぎ 高 等 学 校	古 味 俊 二		青 木 秀 雄	佐 々 木 絹 代	63
			大 西 正 治		
池 田 高 等 学 校	竹 内 圭 三		美 馬 和 彦	瀬 尾 恵 司	103
			篠 山 仁 志		
			志 磨 正 師		
			板 東 潤		
			原 史 磨		
			川 人 誠 治		
徳 島 視 覚 支 援 学 校	橋 本 敦 子		中 井 邦 枝	梶 藤 和 弘	59
徳 島 聴 覚 支 援 学 校	橋 本 敦 子		掛 田 千 津 子	梶 藤 和 弘	64
板 野 支 援 学 校	久 保 田 勝 己		新 居 見 猛	川 口 登 志 夫	144
			森 本 真 由 美		
国 府 支 援 学 校	上 野 清 文		多 田 郁 子	黒 川 徹 雄	155
			名 山 優		
鴨 島 支 援 学 校	久 田 真 由 美		小 谷 慎 一	中 尾 希 実 子	44

学 校 名	校 長	副 校 長	教 頭	事務(課・室)長	職員総数
ひのみね支援学校	林 素 弘		坂 本 美 恵	藤 野 正 敏	64 名
			伊 丹 三 郎		
阿 南 支 援 学 校	中 内 貴 文		森 好 史	竹 内 毅	119
			大 塚 啓 子		
			森 本 裕 美		
池 田 支 援 学 校	榑 浩 一		名 山 泰 子	白 川 昇	73
			鳴 川 幸 恵		
			西 直 子		
み な と 高 等 学 園	本 田 敦 彦		福 原 孝 弘	岸 伸 子	55
			橘 祥 史		
城 ノ 内 中 学 校	森 本 俊 明		中 野 里 佳	吉 岡 慶 治	25
富 岡 東 中 学 校	宮 井 玲 夫		安 崎 輝 彦	中 村 順	15
県 立 川 島 中 学 校	武 田 伊 織		多 田 巧	小 山 督 二	15
計					2,508 名

2 令和元年度歳入歳出予算の総括

(1) 一般会計

(単位：千円)

区 分	元年度	前 年 度		比 較		財 源 内 訳							
	当 初 予算額 A	当 初 予算額 B	最 終 予算額	増減 A-B	率 A/B×100	特 定 財 源						一 般 財 源	
						国支出金	使 用 料 手 数 料	寄附金	財産収入	繰 入 金	諸 収 入		地 方 債
教育政策課	1,560,280	1,428,709	1,440,665	131,571	109.2		9,800		61,040	81,000	107,344		1,301,096
コンプライアンス推進室	963	954	954	9	100.9								963
施設整備課	750,242	1,508,975	1,955,579	△758,733	49.7	3,000				367,000		258,000	122,242
教育創生課	42,407	58,794	51,067	△16,387	72.1	15,674	10,979			3,000	480		12,274
教職員課	63,849,023	64,567,745	63,061,626	△718,722	98.9	11,361,212	2,127,968				12,548		50,347,295
福利厚生課	9,213,419	8,683,480	8,267,086	529,939	106.1				26,989		108	2,400,000	6,786,322
学校教育課	377,696	2,630,217	2,541,350	△2,252,521	14.4	53,708	2,046		405		680		320,857
グローバル・ 文化教育課	2,209,343	102,683	98,947	2,106,660	2,151.6	1,873,021				7,528	1,550		327,244
特別支援教育課	164,470	156,197	160,462	8,273	105.3	75,716				2,000			86,754
人権教育課	193,641	192,107	198,374	1,534	100.8	45,292					11,000		137,349
体育学校安全課	251,579	245,992	208,069	5,587	102.3	27,808				4,000	133,435		86,336
生涯学習課	161,340	162,751	139,768	△1,411	99.1	31,548					10	3,000	126,782
文化の森振興本部	736,198	660,895	724,786	75,303	111.4	8,900	16,349	1,000		292,000	44,462	54,000	319,487
計	79,510,601	80,399,499	78,848,733	△888,898	98.9	13,495,879	2,167,142	1,000	88,434	756,528	311,617	2,715,000	59,975,001

(注) 令和元年度「当初予算額」及び前年度「当初予算額」「最終予算額」の欄の数値は、機構改革により所管替された後の額である。

(2) 特別会計

(単位：千円)

区 分	会 計 名	元年度	前 年 度		比 較		財 源 内 訳		
		当 予 算 初 額 A	当 予 算 初 額 B	最 予 算 終 額	増 減 A-B	率 A/B×100	財産収入	諸 収 入	繰 越 金
施設整備課	県有林県行造林 事業特別会計	250	250	250	0	100.0	250		
グローバル・ 文化教育課	奨学金貸付金 特別会計	301,749	337,159	241,395	△35,410	89.5	1,241	192,529	107,979
計		301,999	337,409	241,645	△35,410	89.5	1,491	192,529	107,979

(注) 令和元年度「当初予算額」及び前年度「当初予算額」「最終予算額」の欄の数値は、機構改革により所管替された後の額である。

3 繰越明許費の状況

(1) 一般会計

(単位:千円)

区 分	繰 越 額	備 考
施設整備課	1,320,951	
福利厚生課	17,164	
文化の森振興本部	23,825	
計	1,361,940	

4 債務負担行為の状況

(1) 一般会計

(単位:千円)

区 分	事 項	期 間	限 度 額
教育政策課	学校業務支援システム構築事業業務委託契約	令和2年度	15,470
施設整備課	高校施設整備事業工事請負契約	令和2年度	147,085
計			162,555

5 重点事業

〈徳島教育大綱の基本方針〉

「とくしまの未来を切り拓く、夢あふれる『人財』の育成」

I 地方創生から日本創成へ！「徳島ならではの」教育の推進

(1) 個性、可能性を最大限に伸ばす教育の推進

変化の激しい時代を生きる子供たちが、それぞれの個性や能力に応じてこれからの社会を生きぬいていく力を身に付け、可能性をしっかりと開花させる教育を推進するため、「多様で特色ある能力・個性を伸ばす教育の推進」「次代を生きぬくキャリア教育の推進」「障がいによる困難を克服し、個性輝く自立を支援」を三本柱とした事業を展開する。

特に、「阿南光高校」において高大接続による教育及び産業界との連携による研究開発を行うとともに、商品開発から販路拡大までを一体的に行う徳島ならではの「6次産業化実践教育」のさらなる進化・発展を図る。

また、学校の枠を超えたネットワークの構築や年間を通じたプログラムによる意欲・学力向上やサイエンティストの発掘・育成を図るとともに、家庭や地域・経済団体等と積極的に連携した「キャリア教育」の取組を推進する。

さらに、発達障がいのある子供たちへの切れ目ない支援を図るため、本県独自の「ポジティブな行動支援」の拡充、社会的・職業的自立に向けたキャリア教育を実施する。

(2) 人口減少社会に挑戦する「徳島モデル」の学校づくり

人口減少が急速に進む地域の高校において、その魅力化や活性化を通じて地域の新たな活力を創出するため、豊かな資源を活かした教育プログラムを確立し、県内外から生徒が集う学校づくりを進める。

また、小規模化する学校を存続させ、かつ教育の質を保障する徳島モデルの小中一貫教育として「チェーンスクール」「パッケージスクール」の全県展開を図るとともに、二地域居住を促進するため、地方と都市の学校間移動を容易にする「デュアルスクール」の実証研究によるモデル化を進める。

(3) 教育からの「教育イノベーション（技術革新）」

第4次産業革命時代の未来社会で活躍できる人材を育成するため、小学校段階でのプログラミング教育の実施に向けて調査研究を行うとともに、教職員の指導力向上を図る。

また、小規模化が進む高校において、多様な教育活動を展開するため、生徒の学習ニーズに応じた遠隔授業の実施体制を構築する。

さらに、教育ビッグデータの分析・活用方法について検証するとともに、生徒の理解を深める授業を実践するため、学校におけるICT環境の充実を進める。

(4) 災害を迎え撃つ防災教育の推進

児童生徒が安全・安心に学ぶことができる教育環境を確保するため、「県立学校施設長寿命化計画」に基づき、県立学校施設を長く賢く使えるよう計画的に整備する。

また、南海トラフ巨大地震等の自然災害等に備え、地域防災の担い手となる人材を計画的に育成するため中高校生及び教員の「防災士」の資格取得を一層推進するとともに、中学校、高校の「防災クラブ」が自主的な活動を行う体制づくりを進め、地域に根ざした積極的な防災活動を展開する。

II 一人ひとりが輝く！徳島の未来を育む教育の推進

(1) 確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成

子供たちが、心身ともに健康で、幅広い知識や教養、豊かな情操、道徳心などをバランスよく習得し、総合的な人間力を高めるため、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成する教育を推進する。

特に、新学習指導要領において示された「主体的・対話的で深い学び」の実現を通して学力向上を図るため、大学との連携強化、各校の研究テーマに基づいた取組の実施、県・国の学力調査と学力向上確認プリントの活用により「学力の向上」に着実に取り組むとともに、スクールカウンセラー等の専門家による教育相談体制の充実、子供たちの「体力の向上」さらには健康課題である「肥満予防」「肥満対策」「生活習慣の改善」に向けた取組を進める。

また、すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、学校の教育活動全体を通じて人権教育を推進するとともに、子供たちの命を守り抜くため、命や心に関する主体的な学びの充実を図る。

幼児教育においては、幼稚園と保育所、認定こども園、小学校との連携・接続を強化し、発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を推進する。

(2) 未来を拓く教職員の育成

学校の業務改善に大きな効果がある「統合型校務支援システム」を含む「学校業務支援システム」を全市町村の公立小中学校に導入するため、システムの構築を行うとともに、教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制の整備や部活動の活性化を図り、教員の負担軽減につなげるため、外部人材の活用を推進する。

また、教員育成指標を踏まえた、キャリアステージに応じた研修等の実施、心身の健康保持・増進を図る。

(3) 学校・家庭・地域が協働で取り組む教育の推進

地域の女性ネットワークを活用し、エシカル消費を分かりやすく説明する教材の作成及びワークショップの開催等により、地域に根ざしたエシカル消費の普及・啓発を図る。

また、特別支援学校等卒業後の障がい者の自立と社会参加を促進するため、各種講座を開催し、生涯を通じた多様な学習活動を支援する。

さらに、地域総ぐるみで未来を担う子供たちの成長を支えるため、地域住民等の参画により、学校・家庭・地域が連携・協働して、学校教育活動を支援する体制を整備し、放課後や週末等における豊かな教育環境づくりを進める。

(4) 時代の潮流を見据えた学びの推進

成年年齢18歳引き下げを見据え、成人として自分らしく自立し、責任を担い協働できる若者を育成するため、生徒の積極的な社会参加の推進を図る。

また、消費者庁等と連携・協働し、専門的知識を有する指導者の育成を目指した研修モデルの構築、「エシカル消費」推進に取り組む高校生による「エシカル甲子園」の開催など、新次元の消費者教育の推進を図る。

さらに、特別支援学校の生徒の社会参加と能力開発を推進するため「エシカル消費」の活動にチャレンジするなど全国モデルとなる実践的な取組を推進する。

Ⅲ グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進

(1) 徳島を愛する心の育成と「とくしま回帰」の促進

「ふるさと徳島」への誇りや郷土を愛する心を醸成するため、伝統文化や文化財の継承に資する教育を進めるとともに、「あわ文化」の魅力を県内外に発信する「あわっ子文化大使」の育成や活躍の場の拡大を図る。

(2) 世界に羽ばたくグローバル人財の育成

英語でのコミュニケーション能力の育成はもとより、総合的な人間力を高め、世界に羽ばたく教育を推進するため、小学校から高校までの児童生徒に英語で外国人と交流する体験活動の機会を提供するとともに、児童生徒の英語力を世界スタンダードへと育てるため、小・中・高校の教員の指導力・英語力向上を図る。

また、海外留学や海外大学進学を目指す中学生、高校生の支援などにより、グローバルな視点と地域の視点（ローカル）を兼ね備えた世界を舞台に活躍できるグローバルな人財の育成に努める。

(3) 国際舞台で躍動するアスリート，アーティストの育成

2022年度全国高等学校総合体育大会や各種全国大会での上位入賞を目指すため，強化校を指定し，集中的に高校生の競技力向上を図る。

また，小・中学生世代から将来性のある選手の発掘や運動部活動の活性化，新たな可能性を秘めた有望競技の育成を進め，競技力の底上げを図る。

さらに，平成30年度開催の近畿高等学校総合文化祭徳島大会の成果をレガシーとして次代に継承するとともに，「阿波藍」「阿波人形浄瑠璃」「阿波おどり」「ベートーヴェン第九」といった「あわ文化」の継承・普及に取り組む児童生徒の活動を支援する。

(4) 世界に輝く「あわ文化」の創造・発信

文化の森各館所蔵の貴重資料への閲覧機会を増大させるため，資料のデジタル化を推進し，手軽に閲覧利用できる環境を提供する。

また，日本最古級恐竜化石含有層の調査及び魅力発信事業を実施し，本県の古環境，古生物の実態解明と地域の活性化を促進するとともに，近代日本画の魅力を見出すため，培広庵のコレクション展を開催する。

さらに「あわ文化発信拠点」文化の森の魅力を高めるため，図書館の機能強化・資料の充実を図るとともに，徳島発の世界に誇れるユニバーサルミュージアムを目指した取組を拡充する。

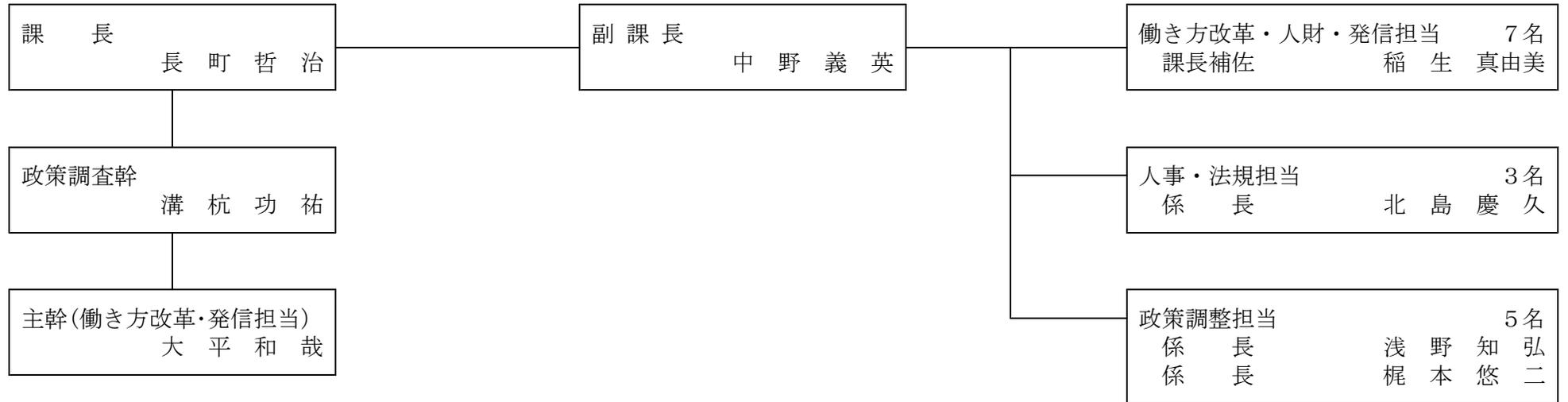
加えて，「新未来型展示」の県立博物館をグランドオープンさせるため，基本構想に基づき，実施設計を行う。

教 育 政 策 課

1 組織図及び事務分掌

(1) 組織図

ア 職員総数 19名



(2) 事務分掌

課長 長町哲治
 政策調査幹 溝杭功祐
 主幹(働き方改革・発信担当) 大平和哉
 副課長 中野義英

担当名	分掌事務	担当者名
働き方改革・人財・発信担当	1 教育委員会の会議に関する事。 2 総合教育会議に関する事。 3 教育行政の点検・評価に関する事。 4 教育大綱・教育振興計画に関する事。 5 教育委員会の広報に関する事。 6 教育行政に係る広聴・相談に関する事。 7 教職員の働き方改革に関する事。	課長補佐 稲生真由美
人事・法規担当	1 条例，規則，告示，訓令の審査に関する事。 2 事務局等職員（教育関係職員を除く。）の人事，勤務条件，研修，定数に関する事。 3 訴訟，和解，不服申立に関する事。	係長 北島慶久
政策調整担当	1 教育委員会全体の予算・決算の総合調整に関する事。 2 教育委員会全体の政策に係る総合調整に関する事。 3 県議会に関する連絡・調整に関する事。 4 各種団体からの要望等に対する処理に関する事。	係長 浅野知弘 係長 梶本悠二

2 令和元年度歳入歳出予算の総括

(1) 一般会計

(単位：千円)

科 目 (目)	元年度	前 年 度		比 較		財 源 内 訳							
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A - B	率 A/B ×100	特 定 財 源						一般財源	
						国支出金	使 用 料 手 数 料	財産収入	繰 入 金	諸 収 入	地 方 債		
教 育 委 員 会 費	9,114	9,242	7,242	△128	98.6								9,114
事 務 局 費	4,283	4,602	6,425	△319	93.1			20					4,263
教 職 員 人 事 費	813	893	893	△80	91.0								813
総合教育センター費	86,460	0	0	86,460	皆増					85,423			1,037
企 画 調 査 費	1,931	1,976	1,976	△45	97.7					350			1,581
高 等 学 校 総 務 費	65,972	68,837	66,102	△2,865	95.8								65,972
全日制高等学校管理費	980,344	938,970	966,206	41,374	104.4		3,500	60,690	81,000	17,690			817,464
定時制高等学校管理費	52,863	51,955	46,866	908	101.7			330					52,533
教 育 振 興 費	54,843	54,212	51,487	631	101.2		6,300			2,260			46,283
通 信 教 育 費	2,263	2,261	2,261	2	100.1								2,263
特 別 支 援 学 校 費	301,394	295,761	291,207	5,633	101.9					1,621			299,773
計	1,560,280	1,428,709	1,440,665	131,571	109.2	0	9,800	61,040	81,000	107,344	0		1,301,096

3 債務負担行為の状況

(1) 一般会計

(単位：千円)

事 項	限 度 額	前年度末までの 支 出 額		当該年度以降の 支 出 予 定 額		左 の 財 源 内 訳			
		期 間	金 額	期 間	金 額	特 定 財 源			一 般 財 源
						国 支 出 金	地 方 債	そ の 他	
学校業務支援システム 構築事業業務委託契約	15,470			令和2年度	15,470			15,290	180

4 重点事業

(1) 教育委員会の運営

教育行政の適切な執行のため、教育委員会会議の運営補助を行う。

(2) 広報広聴活動の充実

広報広聴活動を充実し、広く県民に教育の現状や課題を周知して施策の普及に努める。

(3) 教職員の働き方改革の推進

教職員の働き方改革を推進し、教育力の向上と持続可能な学校づくりを図る。

(4) 教育委員会事務局等の組織の充実強化

円滑な教育行政を推進するため、事務局各課及び教育機関の職員の適正な配置に努めるとともに、組織を充実強化し、事務処理の能率化を図る。

(5) 教育行政の総合的な調整

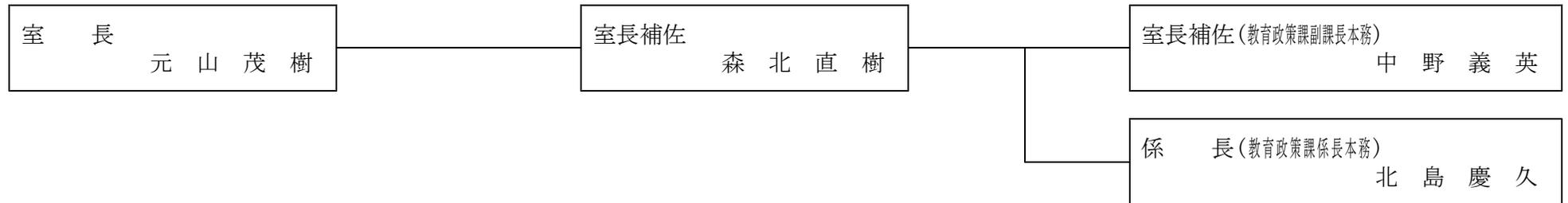
教育委員会の予算及び重要政策課題の総合調整を行い、教育大綱・教育振興計画の着実な推進を図る。

コンプライアンス推進室

1 組織図及び事務分掌

(1) 組織図

ア 職員総数 4名（うち2名兼務）



(2) 事務分掌

担当名	分掌事務	担当者名
	1 コンプライアンス推進に関すること。 2 コンプライアンス研修及び啓発に関すること。 3 コンプライアンス推進本部会議，コンプライアンス推進員会議に関すること。 4 公益通報制度の通報処理に関すること。 5 不当要求行為等の対策に関すること。 6 働きかけ制度に関すること。 7 ハラスメント相談に関すること	室長 元山茂樹 室長補佐 森北直樹 室長補佐(教育政策課副課長本務) 中野義英 係長(教育政策課係長本務) 北島慶久

2 令和元年度歳入歳出予算の総括

(1) 一般会計

(単位：千円)

科目 (目)	元年度	前年度		比較		財源内訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B ×100	特定財源						一般財源
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	地方債	
事務局費	963	954	954	9	100.9							963
計	963	954	954	9	100.9	0	0	0	0	0	0	963

3 重点事業

(1) コンプライアンス意識の醸成

- ・コンプライアンス意識を醸成するため、推進体制を整備し、啓発活動及び研修の充実を図る。
- ・啓発活動及び研修の充実のための、研修ツールの提供やイベントを企画する。
- ・スムーズな情報交換や活発なコミュニケーションが図れる「風通しの良い職場環境づくり」を推進する。

(2) 公益通報制度の運用

- ・公益通報や苦情等その他の通報を円滑に処理する。
- ・通報内容を分析し、コンプライアンス意識の醸成に活用する。

(3) ハラスメント相談窓口の運用

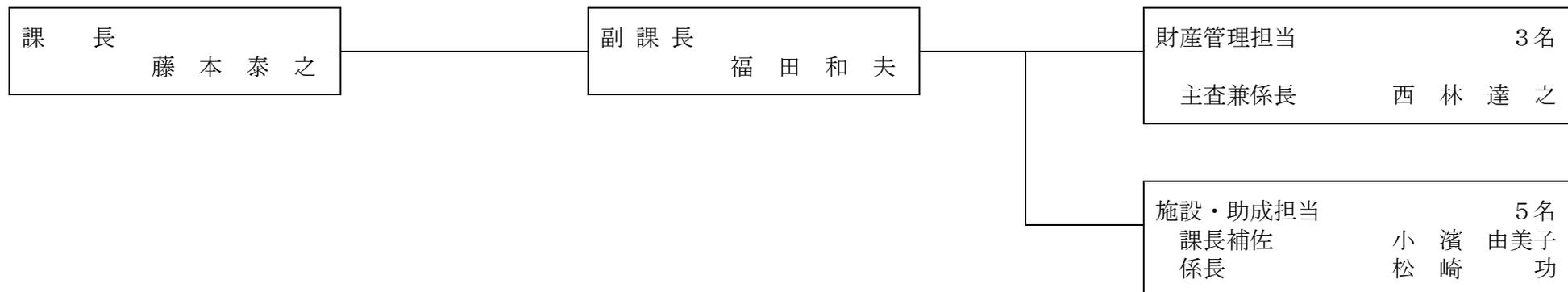
- ・教育委員会事務局における相談体制の整備、周知徹底、相談の円滑な処理を行う。
- ・相談員の対応能力向上に努める。

施 設 整 備 課

1 組織図及び事務分掌

(1) 組織図

職員総数 10名



(2) 事務分掌

担当名	分掌事務	担当者名
財産管理担当	1 課の予算の編成，執行及び決算に関すること。 2 教育財産の取得，処分及び管理に関すること。	主査兼係長 西林達之 課長 藤本泰之 副課長 福田和夫
施設・助成担当	1 県立学校施設の長寿命化に関すること。 2 県立学校施設・設備の整備，修繕に関すること。 3 県立学校施設の耐震化に関すること。 4 産業教育施設・設備の整備に関すること。 5 公立文教施設（市町村立学校）国庫負担事業等の指導監督に関すること。	課長補佐 小濱由美子 係長 松崎功

2 令和元年度歳入歳出予算の総括

(1) 一般会計

(単位：千円)

科目 (目)	元年度		前年度		比較		財源内訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B ×100	特定財源						一般財源	
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	地方債		
事務局費	11,131	12,417	13,169	△1,286	89.6	3,000							8,131
教育振興費	104,972	99,987	99,987	4,985	105.0				104,000				972
(高等学校費) 学校建設費	604,675	1,326,573	1,738,677	△721,898	45.6				263,000		258,000		83,675
実習船運営費	9,334	8,522	8,522	812	109.5								9,334
(特別支援学校費) 学校建設費	20,130	61,476	95,224	△41,346	32.7								20,130
計	750,242	1,508,975	1,955,579	△758,733	49.7	3,000	0	0	367,000	0	258,000		122,242

(2) 特別会計

(単位：千円)

会計名	科目 (目)	元年度		前年度		比較		財源内訳				
		当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B×100	国支出金	財産収入	繰入金	諸収入	繰越金	
県有林県行造林 事業特別会計	学校林費	250	250	250	0	100.0		250				
計		250	250	250	0	100.0	0	250	0	0	0	0

3 繰越明許費の状況

(1) 一般会計

(単位：千円)

科目(目)	繰越額	事業名及び繰越理由	
事務局費	2,500	教育財産取得及び管理費	計画に関する諸条件
(高等学校費)学校建設費	1,242,268	高校施設整備事業費	計画に関する諸条件
(特別支援学校費)学校建設費	76,183	特別支援学校施設整備事業費	計画に関する諸条件
計	1,320,951		

4 債務負担行為の状況

(1) 一般会計

(単位：千円)

事項	限度額	前年度末までの支出額		当該年度以降の支出予定額		左の財源内訳			一般財源
		期間	金額	期間	金額	特定財源			
						国支出金	地方債	その他	
高校施設整備事業工事 請負契約	147,085			令和2年度	147,085				147,085

5 重点事業

(1) 県立学校施設の整備

県立学校における施設及び設備の整備については、情報化，産業技術の進歩，環境負荷の低減等を踏まえた整備・充実に努めるとともに，県立学校施設を長く賢く使えるよう計画的に長寿命化を推進し，安全で快適な教育環境の充実に努める。

(2) 市町村立小・中学校の施設整備指導

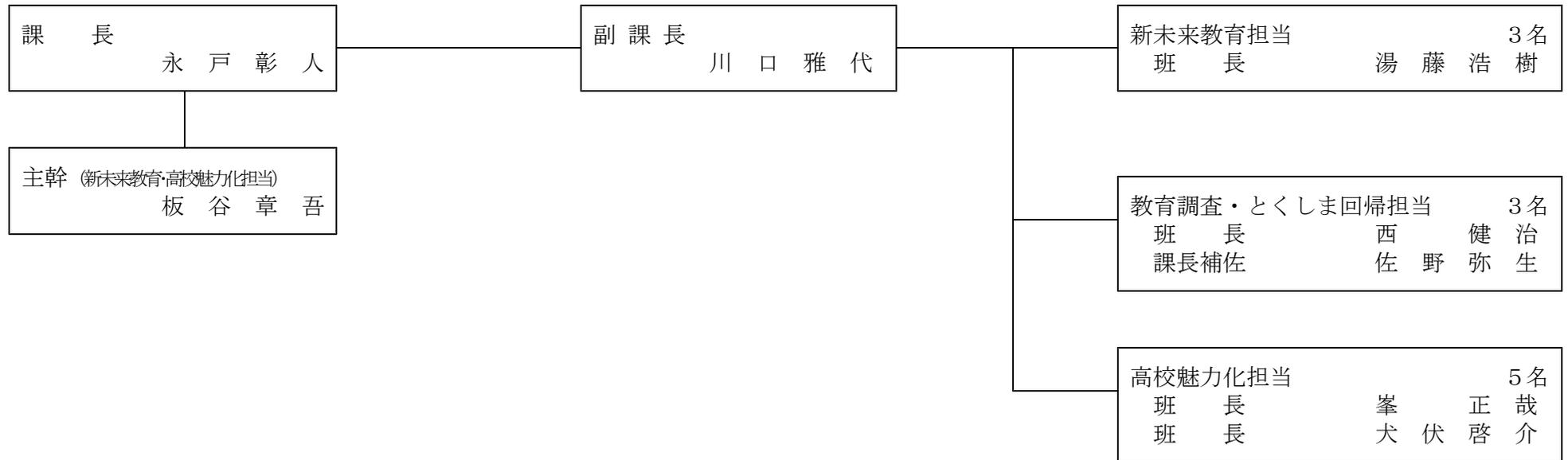
公立幼稚園，小学校及び中学校の施設整備については，市町村の計画の円滑な促進に努める。

教 育 創 生 課

1 組織図及び事務分掌

(1) 組織図

職員総数 14名 (うち1名兼務)



(2) 事務分掌

課長 永戸彰人
 主幹(新未来教育・高校魅力化担当) 板谷章吾
 副課長 川口雅代

担当名	分掌事務	担当者名
新未来教育担当	1 公立高等学校，県立中学校及び県立中等教育学校の募集定員の設定に関する こと。 2 公立高等学校，県立中学校及び県立中等教育学校入学者選抜に関する こと。 3 公立高等学校普通科の通学区域に関する こと。	班長 湯藤浩樹
教育調査・とくしま 回帰担当	1 教育に関する調査統計に関する こと。(他課の分掌に属するものを 除く。) 2 デュアルスクールに関する こと。 3 県立夜間中学設置に関する こと。(他課の分掌に属するものを 除く。)	班長 西健治 課長補佐 佐野弥生
高校魅力化担当	1 高校教育改革に関する こと。 2 高校の特色化・魅力化に関する こと。 3 中高一貫教育に関する こと。	班長 峯正哉 班長 犬伏啓介

2 令和元年度歳入歳出予算の総括

(1) 一般会計

(単位：千円)

科 目 (目)	元 年 度		前 年 度		比 較		財 源 内 訳					
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A - B	率 A / B × 100	特 定 財 源						一般財源
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	地方債	
計 画 調 査 費	21,501	24,637	18,787	△3,136	87.3	10,717	66		3,000			7,718
教 育 指 導 費	8,951	8,802	6,832	149	101.7	4,957	215					3,779
企 画 調 査 費	505	505	598	0	100.0							505
高 等 学 校 総 務 費	11,450	11,450	11,450	0	100.0		10,698			480		272
(高 等 学 校 費) 学 校 建 設 費	0	13,400	13,400	△13,400	皆減							
計	42,407	58,794	51,067	△16,387	72.1	15,674	10,979	0	3,000	480	0	12,274

3 重点事業

(1) 高校教育改革の推進

各高等学校が将来にわたり多様な教育や部活動を実施し、活力ある教育活動を展開していくため、学科再編や高校再編を通じた環境整備に努めるとともに、通学区域制をはじめとする入学者選抜制度の改革を推進する。

(2) 県立高校の特色化・魅力化の推進

多様化する生徒のニーズに応えていくことができる教育の実現を図るため、農業、工業、商業等の専門教育の活性化に取り組むとともに、普通科の特色化・魅力化を推進する。

(3) 「デュアルスクール」の推進

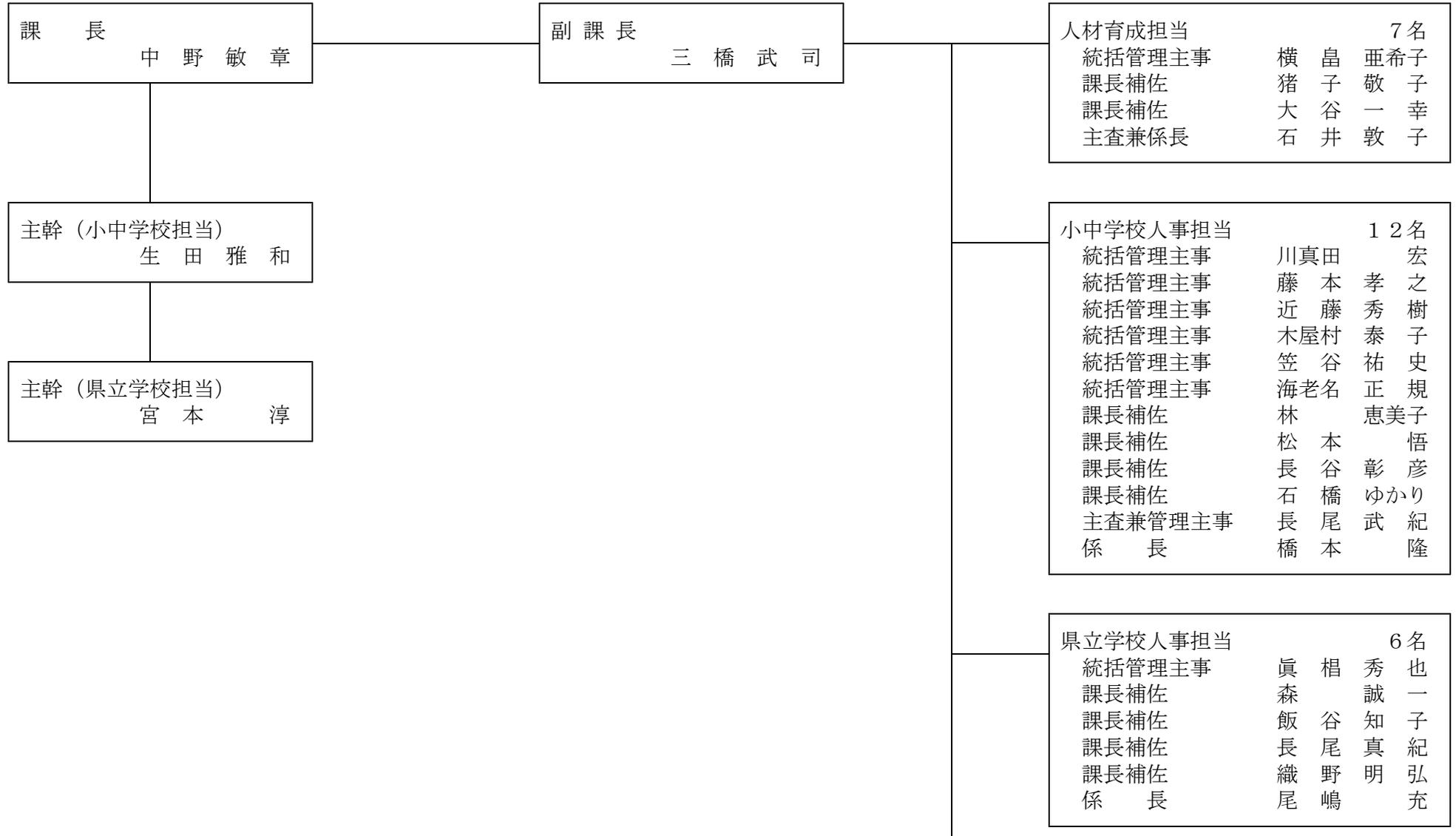
地方と都市、双方のよさを体験することで、地方居住者と都市居住者の双方の視点に立った考え方でできる人材を育成する「デュアルスクール」のモデル化を推進する。

教 職 員 課

1 組織図及び事務分掌

(1) 組織図

ア 職員総数 39名 (うち2名兼任)



給与担当		10名
課長補佐	島田	公美子
係長	鍛川	真紀
係長	栗島	孝枝

(2) 事務分掌

課長	中野	敏章
主幹(小中学校担当)	生田	雅和
主幹(県立学校担当)	宮本	淳
副課長	三橋	武司

担当名	分掌事務	担当者名
人材育成担当	1 県立学校の教育関係職員及び県費負担教職員の研修に関すること（他課の分掌に属するものを除く。）。 2 県立学校の教育関係職員及び県費負担教職員の職員団体に関すること。 3 教育職員免許に関すること。 4 予算の編成，執行及び決算に関すること。	統括管理主事 横 畠 亜希子 課長補佐 猪 子 敬 子 課長補佐 大 谷 一 幸 子 主査兼係長 石 井 敦 子
小中学校人事担当	1 県費負担教職員の任免，分限，懲戒，表彰その他人事に関すること。 2 地教行法第四十三条第四項の規定に基づく技術的な基準に関すること。 3 県費負担教職員の勤務条件に関すること。 4 小，中学校の職員組織に関すること。 5 市町村教育委員会の連絡調整に関すること。 6 県費負担教職員の叙位叙勲の総合調整に関すること。	統括管理主事 川真田 宏 統括管理主事 藤 本 孝 之 統括管理主事 近 藤 秀 樹 統括管理主事 木屋村 泰 子 統括管理主事 笠 谷 祐 史 統括管理主事 海老名 正 規 課長補佐 林 恵 美 子 課長補佐 松 本 悟 課長補佐 長 谷 彰 彦 課長補佐 石 橋 ゆ かり 主査兼管理主事 長 尾 武 紀 係 長 橋 本 隆

担 当 名	分 掌 事 務	担 当 者 名
県立学校人事担当	1 県立学校の教育関係職員の任免，分限，懲戒，表彰その他人事に関する事。 2 県立学校の教育関係職員の勤務条件に関する事。 3 県立学校の職員組織に関する事。 4 県立学校の教育関係職員の叙位叙勲の総合調整に関する事。	統括管理主事 眞 相 秀 也 課長補佐 森 誠 一 課長補佐 飯 谷 知 子 課長補佐 長 尾 真 紀 課長補佐 織 野 明 弘 係 長 尾 嶋 充
給与担当	1 事務局職員，県立学校教職員，県費負担教職員，その他の教育機関の職員の給与（退職手当を除く。）に関する事。 2 給与制度に関する事。 3 義務教育費国庫負担金事務に関する事。	課長補佐 島 田 公美子 係 長 鍛 川 真 紀 係 長 栗 島 孝 枝

2 令和元年度歳入歳出予算の総括

(1) 一般会計

(単位：千円)

科 目 (目)	元年度	前 年 度		比 較		財 源 内 訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A - B	率 A/B ×100	特 定 財 源					一般財源	
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入		地方債
事務局費	2,079,051	2,066,734	2,061,731	12,317	100.6	1,000				7,505		2,070,546
教職員人事費	19,181	17,978	20,852	1,203	106.7		12,196					6,985
教育指導費	107,314	105,808	104,861	1,506	101.4	25,450						81,864
総合教育センター費	1,150	750	750	400	153.3							1,150
(小学校費) 教職員費	24,235,173	24,709,805	24,062,010	△474,632	98.1	6,578,329						17,656,844
(中学校費) 教職員費	15,172,478	15,376,236	15,016,966	△203,758	98.7	3,880,797	143			3,039		11,288,499
高等学校総務費	15,363,471	15,540,006	15,318,882	△176,535	98.9		2,114,251			2,004		13,247,216
通信教育費	131,321	140,728	164,223	△9,407	93.3		1,378					129,943
特別支援学校費	6,739,884	6,609,700	6,311,351	130,184	102.0	875,636						5,864,248
計	63,849,023	64,567,745	63,061,626	△718,722	98.9	11,361,212	2,127,968	0	0	12,548	0	50,347,295

3 重点事業

(1) 教職員の資質の向上

教育の専門家としての確かな力量や、教育公務員としての倫理観、使命感、社会性等を培うこと等に取り組み、教職員の資質の向上に努める。

(2) 優秀な教職員の確保

教員採用審査において、人物重視の審査に向けた様々な改善を行い、優秀な教職員の確保に努める。

(3) きめ細やかな指導体制の整備

少人数学級編制や少人数指導を含めた教員の計画的な配置により、きめ細やかな指導体制の整備に努める。

(4) 市町村教育委員会との連携

県・市町村教育行政連絡協議会、管区別教育長会の開催をはじめ、あらゆる機会を通じ、市町村教育委員会との緊密な連携に努める。

(5) 教育職員の免許状の授与

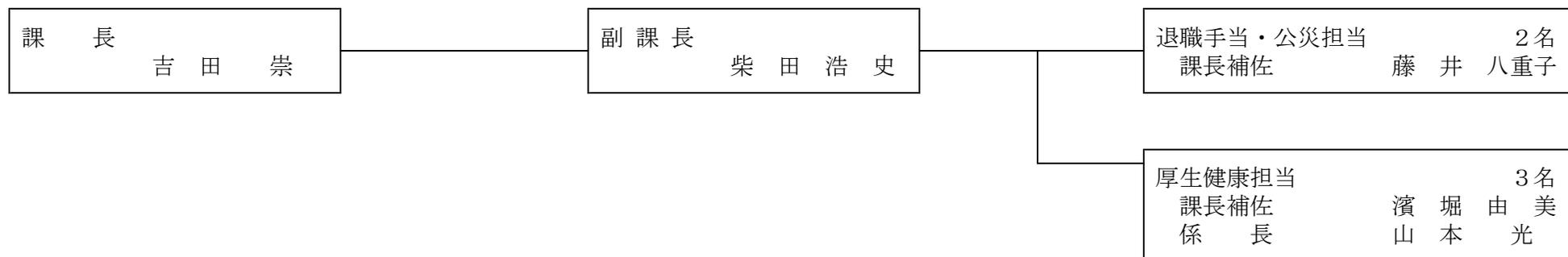
教育職員免許法に基づき教育職員免許状を授与する。

福 利 厚 生 課

1 組織図及び事務分掌

(1) 組織図

職員総数 7名 (うち1名兼務)



(2) 事務分掌

課長 吉田 崇
副課長 柴田 浩史

担当名	分掌事務	担当者名
退職手当・公災担当	1 課及び共済組合・互助組合の職員の人事服務に関する事。 2 課の予算の編成, 執行及び決算に関する事。 3 退職手当に関する事。 4 恩給に関する事。 5 公務災害補償に関する事。 6 教職員被服貸与に関する事。	課長補佐 藤井 八重子
厚生健康担当	1 教職員の福利厚生事業の総合企画及び調整に関する事。 2 教職員住宅に関する事。 3 教職員健康管理・労働安全衛生に関する事。 4 教職員相談事業に関する事。 5 教職員生涯生活設計支援事業に関する事。 6 その他教職員福利厚生に関する事。	課長補佐 濱堀 由美 係長 山本 光

2 令和元年度歳入歳出予算の総括

(1) 一般会計

(単位：千円)

科目 (目)	元年度	前年度		比較		財源内訳							
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A - B	率 A/B ×100	特定財源						一般財源	
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	地方債		
事務局費	200	200	200	0	100.0								200
教職員人事費	9,035,891	8,504,206	8,076,710	531,685	106.3							2,400,000	6,635,891
恩給及び退職年金費	31,756	35,742	33,338	△3,986	88.8								31,756
福利厚生費	32,240	31,605	48,398	635	102.0			26,989		108			5,143
保健体育総務費	113,332	111,727	108,440	1,605	101.4								113,332
計	9,213,419	8,683,480	8,267,086	529,939	106.1	0	0	26,989	0	108	2,400,000		6,786,322

3 繰越明許費の状況

(1) 一般会計

(単位：千円)

科目(目)	繰越額	事業名及び繰越理由
福利厚生費	17,164	教職員住宅管理費 計画に関する諸条件
計	17,164	

4 重点事業

(1) 教職員の健康保持・増進

健康診断等保健管理を着実に実施するとともに、メンタルヘルス不調に対処するための相談事業や管理職に対するセミナーの開催，復職者への支援事業等体系的なメンタルヘルス対策を推進することで，教職員の健康保持・増進に努める。

(2) 教職員の福利厚生向上

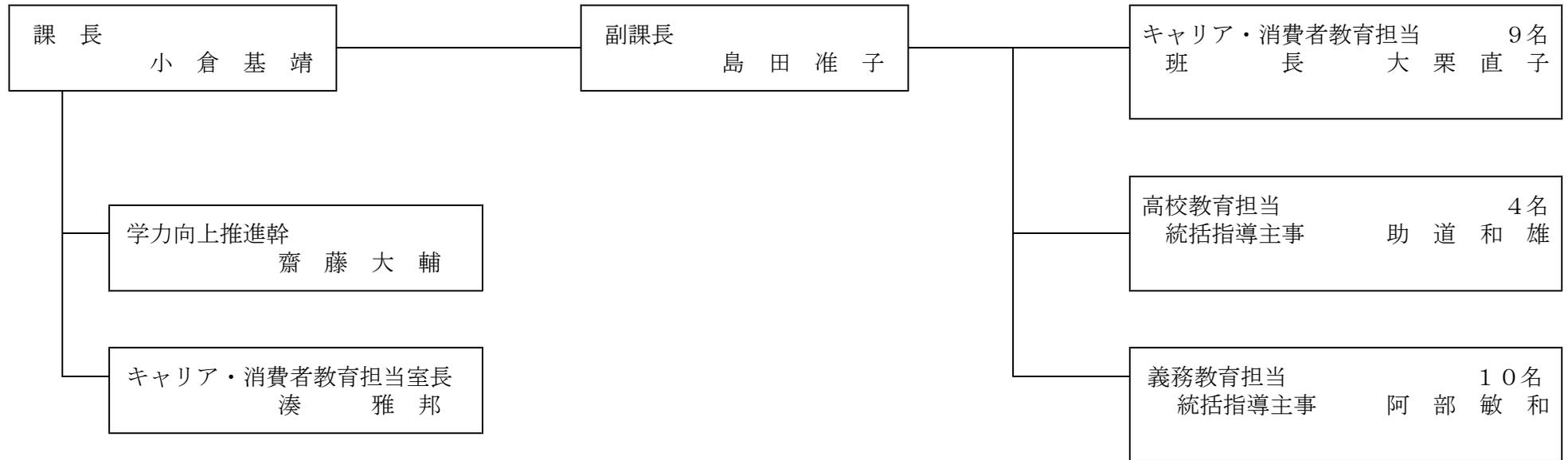
公立学校共済組合及び教職員互助組合と十分連携を図り，効果的な事業執行を行うことで，教職員の福利厚生向上に努める。

学 校 教 育 課

1 組織図及び事務分掌

(1) 組織図

ア 学校教育課 職員総数 27名



(2) 事務分掌

課 長 小 倉 基 靖
 学 力 向 上 推 進 幹 齋 藤 大 輔
 キャリア・消費者教育担当 長 湊 雅 邦
 副 課 長 島 田 准 子

(学校教育課)

担 当 名	分 掌 事 務	担 当 者 名
キャリア・消費者教育担当	1 キャリア教育に関すること（高）。 2 消費者教育に関すること（高）。 3 産業教育に関すること（高）。 4 進路指導（就職）に関すること（高）。 5 予算の編成，執行及び決算に関すること。	班 長 大 栗 直 子
高校教育担当	1 教育課程，学習指導及び進路指導（進学）に関すること（高）。 2 教科書その他の教材に関すること（高）。 3 教育研究指定校及び教育研究団体に関すること（高）。 4 大学との連携に関すること。	統括指導主事 助 道 和 雄
義務教育担当	1 教育課程，学習指導及び進路指導に関すること（小中）。 2 教科書その他の教材に関すること（小中）。 3 教育研究指定校及び教育研究団体に関すること（小中）。 4 学校図書館その他の教育環境の整備計画指導に関すること（小中）。 5 キャリア教育，消費者教育に関すること（小中）。	統括指導主事 阿 部 敏 和

2 令和元年度歳入歳出予算の総括

(1) 一般会計

(単位：千円)

科目 (目)	元年度	前年度		比較		財源内訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A - B	率 A / B × 100	特定財源					一般財源	
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入		地方債
計画調査費	27,800	18,000	18,000	9,800	154.4	13,900						13,900
事務局費	0	2,064,213	1,994,372	△2,064,213	皆減							
教育指導費	81,076	272,157	265,523	△191,081	29.8	39,808				680		40,588
総合教育センター費	268,820	275,847	263,455	△7,027	97.5		2,046	405				266,369
計	377,696	2,630,217	2,541,350	△2,252,521	14.4	53,708	2,046	405	0	680	0	320,857

3 重点事業

(1) キャリア教育の推進

子供たちの発達段階や発達課題の達成に応じた組織的・系統的なキャリア教育を実施するとともに、体験的な活動を充実させることにより、児童生徒の社会的・職業的自立のために必要な能力や態度を育成する。

(2) 消費者教育・主権者教育の推進

成年年齢18歳引き下げを見据え、地域や関係機関と連携し、子供たちの発達段階に応じた系統的・体系的な消費者教育の推進、公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に参画することができる消費者力の育成を図るとともに、選挙や政治に対する理解を深め、自ら考え、自ら判断する主権者を育成する教育を推進する。

(3) 「確かな学力」の育成

基礎・基本の確実な定着はもとより、思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成を図るなど、「生きる

力」を支える「確かな学力」を育成する。

(4) 豊かな心の育成

子供たちが自己の生き方についての考えを深め、人生をよりよく生きるための基盤となる道徳性を培う道徳教育の充実を図り、命を大切にする心や他人を思いやる心、勤労を重んずる心、郷土の伝統や文化を大切にする心などの豊かな心を育成する。

(5) 地域の教育力の活用

地域の人材や教育力を活用して、地域で子供をはぐくむ活動を推進するとともに、コミュニティ・スクールの普及を図り、地域に開かれ信頼される学校づくりを進める。

(6) 幼児期における教育の充実

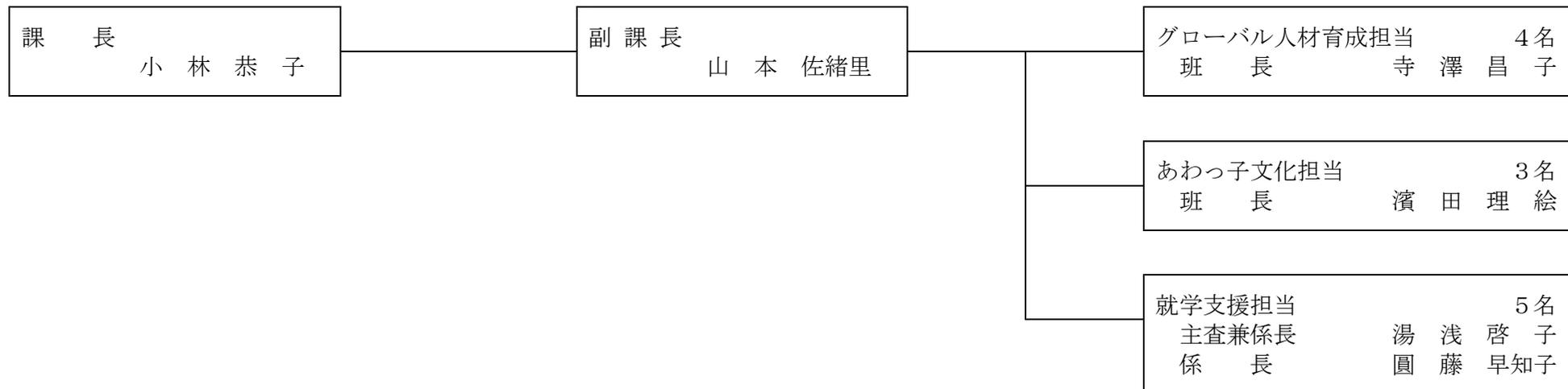
幼稚園と保育所・認定こども園・小学校との連携を強化するとともに、質の高い幼児教育を提供するため、「徳島県幼児教育振興アクションプランⅡ」を積極的に推進する。

グローバル・文化教育課

1 組織図及び事務分掌

(1) 組織図

ア グローバル・文化教育課 職員総数 14名



(2) 事務分掌

課長 小林 恭子
副課長 山本 佐緒里

担当名	分掌事務	担当者名
グローバル人材育成担当	1 外国語教育に関すること。 2 国際理解教育に関すること。	班長 寺澤 昌子
あわっ子文化担当	1 学校の文化振興に関すること。 2 伝統文化を尊重する教育に関すること。 3 著作権に関すること。	班長 濱田 理絵
就学支援担当	1 県立学校等の授業料に関すること。 2 県立学校等の就学支援金に関すること。 3 徳島県奨学金に関すること。	主査兼係長 湯浅 啓子 係長 湯浅 啓子 係長 湯浅 啓子 係長 湯浅 啓子

2 令和元年度歳入歳出予算の総括

(1) 一般会計

(単位：千円)

科目 (目)	元年度	前年度		比較		財源内訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B ×100	特定財源					一般財源	
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入		地方債
計画調査費	16,778	14,748	9,277	2,030	113.8	8,389						8,389
事務局費	2,052,979	0	0	2,052,979	皆増	1,856,132			4,528			192,319
教育指導費	125,482	0	0	125,482	皆増	7,200			3,000	50		115,232
文化及び文化財費	14,104	87,935	89,670	△73,831	16.0	1,300				1,500		11,304
計	2,209,343	102,683	98,947	2,106,660	2,151.6	1,873,021	0	0	7,528	1,550	0	327,244

(2) 特別会計

(単位：千円)

会計名	科目 (目)	元年度	前年度		比較		財源内訳					
		当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B ×100	国支出金	財産収入	繰入金	諸収入	繰越金	
奨学金貸付金 特別会計	奨学金貸付金	301,749	337,159	241,395	△35,410	89.5		1,241			192,529	107,979
計		301,749	337,159	241,395	△35,410	89.5	0	1,241	0		192,529	107,979

3 重点事業

(1) グローバル人材の育成

語学力、コミュニケーション能力、主体性・積極性等を備えた児童生徒を育成するため、小・中・高等学校を通じて英語教育を充実するとともに、外国人との交流、海外留学支援など体験的に学ぶ機会を提供する。

(2) 伝統文化の継承と芸術文化活動の推進

児童生徒がふるさと徳島の文化について県内外で発信できるように、学校における伝統文化の継承に資する教育を推進するとともに、芸術文化に関する体験学習や優れた芸術文化の鑑賞機会の充実を図ることにより、児童生徒が豊かな感性や情操、創造性、コミュニケーション能力などを養う。

(3) 教育の機会均等

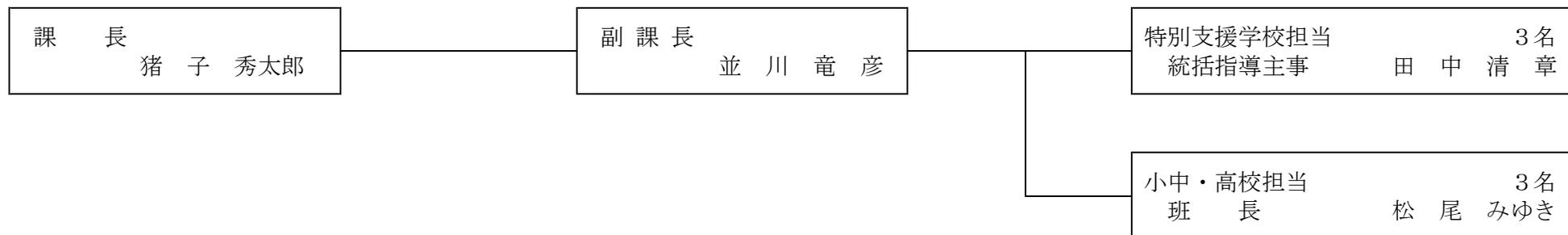
学ぶ意欲と能力のある生徒が、家庭の経済状況等にかかわらず希望する教育を安心して受けられるよう、就学支援金の支給や奨学金の貸与を行う。

特別支援教育課

1 組織図及び事務分掌

(1) 組織図

職員総数 8名 (うち3名兼務)



(2) 事務分掌

課長 猪子 秀太郎
副課長 並川 竜彦

担当名	分掌事務	担当者名
特別支援学校担当	1 特別支援学校の教育の推進に関する事。 2 特別支援学校高等部の入学者選抜に関する事。	統括指導主事 田中 清章
小中・高校担当	1 小中・高校における特別支援教育の推進に関する事。 2 教科書その他の教材に関する事。 3 徳島県教育支援委員会に関する事。	班長 松尾 みゆき

2 令和元年度歳入歳出予算の総括

(1) 一般会計

(単位：千円)

科目 (目)	元年度	前年度		比較		財源内訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A - B	率 A / B × 100	特定財源					一般財源	
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入		地方債
計画調査費	4,080	0	0	4,080	皆増	2,040			2,000			40
教育指導費	32,390	36,197	30,187	△3,807	89.5	9,676						22,714
特別支援学校費	128,000	120,000	130,275	8,000	106.7	64,000						64,000
計	164,470	156,197	160,462	8,273	105.3	75,716	0	0	2,000	0	0	86,754

3 重点事業

(1) 特別支援学校における個性輝く自立支援の取組

一人ひとりが主役となり、将来にわたって地域で活躍できるよう、特別支援学校ならではの強みを活かした教育を推進する。

将来を見据えたキャリア教育を推進し、生徒たちの働きたい想いに応える就労支援を充実させるとともに、文化・芸術活動や体育・スポーツ活動の充実を図り、一人ひとりの個性を伸ばす取組を進める。

(2) 幼・小・中・高等学校における特別支援教育の充実

幼・小・中において望ましい行動を育て、問題行動を未然に防ぐ「ポジティブな行動支援」の浸透を図る取組を推進する。

高等学校に在籍する発達障がい等のある生徒の支援の充実を図り、将来の社会的自立に向け、自立活動等の学習内容を取り入れた教育を推進する。

(3) 共生社会の形成に向けたインクルーシブな教育体制の強化

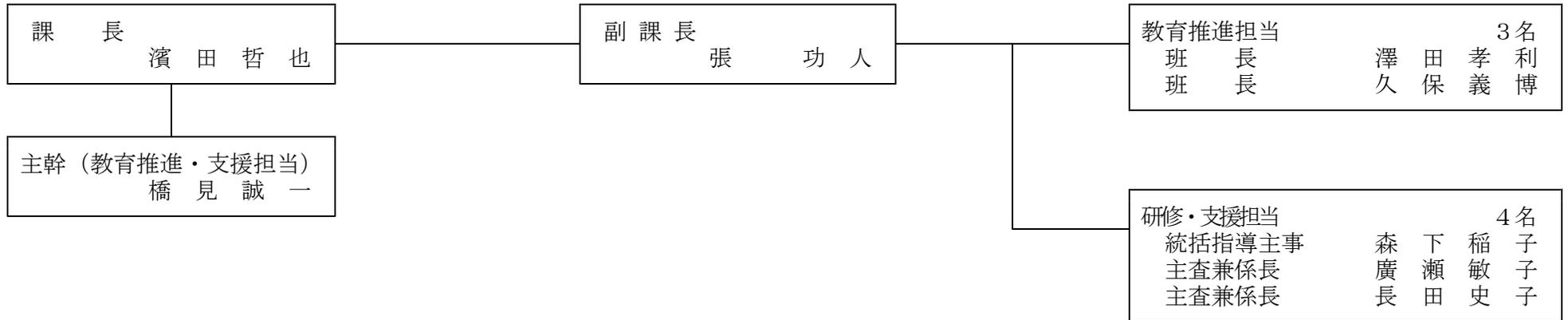
ICTを用いた教員用eラーニング教材等を活用し、教員の特別支援教育に関する専門性を向上させるとともに、学識経験者等と連携した特別支援学校教員の専門性向上を通して、幼・小・中・高等学校を支援する特別支援学校のセンター的機能の充実を図る。

人 權 教 育 課

1 組織図及び事務分掌

(1) 組織図

ア-1 (本課) 職員総数 10名



ア-2 (いじめ問題等対策室) 職員総数 5名



(2) 事務分掌

課長 濱田哲也
 主幹(教育推進・支援担当) 橋見誠一
 副課長 張功人

担当名	分掌事務	担当者名
教育推進担当	1 学校及び社会における人権教育の推進に関する事 2 人権教育指導者用手引書等の活用促進に関する事 3 人権教育研究指定校事業に関する事 4 差別事件・事象に関する事 5 人権教育指導者の育成に関する事 6 人権教育の推進に必要な調査研究に関する事	班長 澤田孝利 班長 久保義博
研修・支援担当	1 人権教育行政推進に係る総合的な連絡調整に関する事 2 人権研修に関する事 3 人権関係機関等との連絡調整に関する事 4 地域改善対策奨学金に関する事	統括指導主事 森下稲子 主査兼係長 廣瀬敏子 主査兼係長 長田史子

(いじめ問題等対策室)

室長 安西政和

担当名	分掌事務	担当者名
いじめ問題等対策担当	1 いじめ問題等対策審議会に関する事 2 いじめ問題等対策連絡協議会に関する事 3 いじめ問題等, 問題行動の予防と対策に関する事 4 問題行動・不登校等, 生徒指導上の諸課題に関する事 5 小・中・高・特別支援学校生徒指導主任・主事研修会に関する事 6 県高校生徒生活指導連絡協議会に関する事 7 スクールカウンセラーの活用に関する事 8 スクールソーシャルワーカーの活用に関する事	班長 岡部昌彦 班長 蔭山善宏

2 令和元年度歳入歳出予算の総括

(1) 一般会計

(単位：千円)

科 目 (目)	元年度	前 年 度		比 較		財 源 内 訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A - B	率 A / B × 100	特 定 財 源					一般財源	
						国支出金	使 用 料 手 数 料	財産収入	繰 入 金	諸 収 入		地 方 債
教 育 指 導 費	193,641	192,107	198,374	1,534	100.8	45,292				11,000		137,349
計	193,641	192,107	198,374	1,534	100.8	45,292	0	0	0	11,000	0	137,349

3 重 点 事 業

(1) 学校における人権教育の推進

発達段階に応じた人権教育の指導内容や指導方法等の研究・実践を進めるとともに、幼児児童生徒が自主的に活動できる機会を設けることにより人権問題の解決に向けた実践力を養い、学校の教育活動全体を通じた人権教育を推進する。

(2) 人権教育推進者の養成

各種の研修機会を通じ、教員の人権意識を高め、指導力の向上を図るとともに、地域社会における人権教育を推進するため、人権教育推進者の養成と資質の向上を図る。

(3) 社会全体で取り組む人権教育の推進

生涯学習の視点に立ち、交流会、研究会などの多様な学習機会を展開していくことを通じて人権尊重の意識を高め、学校・家庭・地域が一体となった人権教育を推進する。

(4) 児童生徒を取り巻く諸課題への対応

関係諸機関や団体との連携を一層深め、いじめや暴力をはじめとする児童生徒の様々な問題行動や虐待等の未然防止に努めるとともに、早期発見・早期解消を図る。

(5) 命と心の支援体制の充実

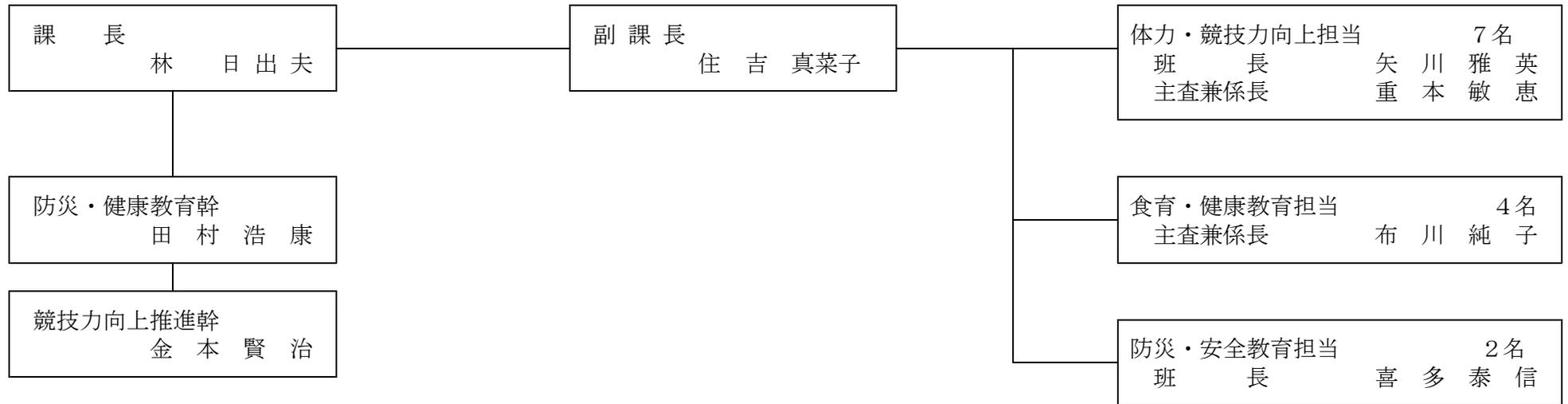
いじめや不登校など、児童生徒の多様な悩みに対応する相談体制の充実を図るとともに、命の大切さや尊さを学び、将来にわたって自分だけでなく、他の人の命や心をサポートできる児童生徒を育てる教育を推進する。

体育学校安全課

1 組織図及び事務分掌

(1) 組織図

ア 職員総数 17名



(2) 事務分掌

課長 林 日出夫
 防災・健康教育幹事 田村 浩康
 競技力向上推進幹事 金本 賢治
 副課長 住吉 真菜子

担当名	分掌事務	担当者名
体力・競技力向上担当	1 学校体育の指導に関する事。 2 児童生徒の体力，運動能力向上及び運動習慣形成に関する事。 3 運動部活動の振興及び競技力向上に関する事。 4 小・中・高等学校体育連盟等競技団体との連携に関する事。 5 2022全国高等学校総合体育大会に関する事。	班長 矢川 雅英 主査兼係長 重本 敏恵
食育・健康教育担当	1 学校保健の指導及び普及推進に関する事。 2 学校給食の充実及び食育の推進に関する事。 3 児童生徒の健康管理及び学校環境衛生に関する事。 4 日本スポーツ振興センター災害共済に関する事。	主査兼係長 布川 純子
防災・安全教育担当	1 防災教育及び安全教育（生活・交通）に関する事。 2 学校の安全管理及び通学路の安全確保に関する事。 3 高校生及び教員防災士の養成に関する事。	班長 喜多 泰信

2 令和元年度歳入歳出予算の総括

(1) 一般会計

(単位：千円)

科 目 (目)	元年度	前 年 度		比 較		財 源 内 訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A - B	率 A / B × 100	特 定 財 源					一般財源	
						国支出金	使 用 料 手 数 料	財産収入	繰 入 金	諸 収 入		地 方 債
保 健 体 育 総 務 費	191,833	184,926	159,737	6,907	103.7	16,384			4,000	132,879		38,570
体 育 振 興 費	59,746	61,066	48,332	△1,320	97.8	11,424				556		47,766
計	251,579	245,992	208,069	5,587	102.3	27,808	0	0	4,000	133,435	0	86,336

3 重点事業

(1) 体力・運動能力の向上と運動習慣の確立

児童生徒が生涯にわたって運動に親しむ資質・能力や体力の向上のため、学校体育の充実を図るとともに、家庭や地域と連携して運動習慣の確立を推進する。

(2) 競技力の向上

全国大会等での入賞を目指し、運動部活動を中心として、競技団体等と連携し競技力の向上に取り組むとともに、鳴門渦潮高校を拠点として本県スポーツ教育の普及と充実を図る。

(3) 食育・健康教育の推進

児童生徒の健康の保持増進のため、学校教育における保健管理や安全の徹底を図るとともに、家庭や地域と連携して、本県子どもたちの健康課題である「肥満予防」、「生活習慣の改善」及び「望ましい食習慣形成のための食育」を推進する。

(4) 防災・安全教育の推進

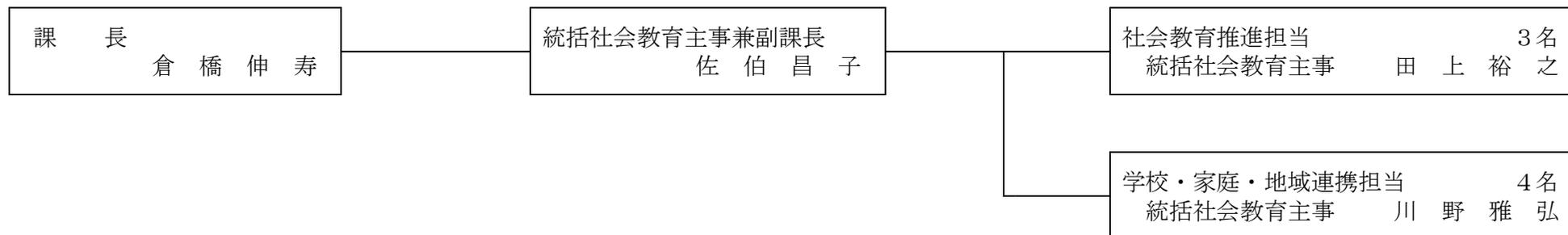
学校の安全管理体制の構築と、災害等に対して児童生徒が主体的に判断し行動できるよう、発達段階に応じた系統的・体系的な防災教育・安全教育を推進するとともに、南海トラフの巨大地震等を見据えて将来の地域防災の担い手となる人材を育成する。

生涯學習課

1 組織図及び事務分掌

(1) 組織図

職員総数 9名



(2) 事務分掌

課長 倉橋伸寿
統括社会教育主事
兼副課長 佐伯昌子

担当名	分掌事務	担当者名
社会教育推進担当	1 生涯学習・社会教育の企画調整及び推進に関する事。 2 社会教育委員に関する事。 3 社会教育施設に関する事。 4 女性教育指導者及び女性団体の育成指導に関する事。 5 予算の編成，執行及び決算に関する事。	統括社会教育主事 田上裕之
学校・家庭・地域連携担当	1 地域学校協働活動の推進に関する事。 2 青少年教育及び青少年団体に関する事。 3 子供の読書活動の推進に関する事。 4 家庭教育の推進に関する事。 5 少年自然の家に関する事。 6 P T A の育成指導に関する事。	統括社会教育主事 川野雅弘

2 令和元年度歳入歳出予算の総括

(1) 一般会計

(単位：千円)

科目 (目)	元年度	前年度		比較		財源内訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A - B	率 A/B ×100	特定財源					一般財源	
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入		地方債
総合教育センター費	9,257	9,239	9,235	18	100.2					10		9,247
社会教育総務費	151,842	153,271	130,304	△1,429	99.1	31,548					3,000	117,294
視聴覚教育費	241	241	229	0	100.0							241
計	161,340	162,751	139,768	△1,411	99.1	31,548	0	0	0	10	3,000	126,782

3 重点事業

(1) 生涯学習の推進

県民が生涯にわたり自己実現を図ることができるよう生涯学習活動を促進するため、指導者や団体の育成を行うとともに、情報の提供等の学習支援を実施する。

(2) 家庭や地域の教育力の向上

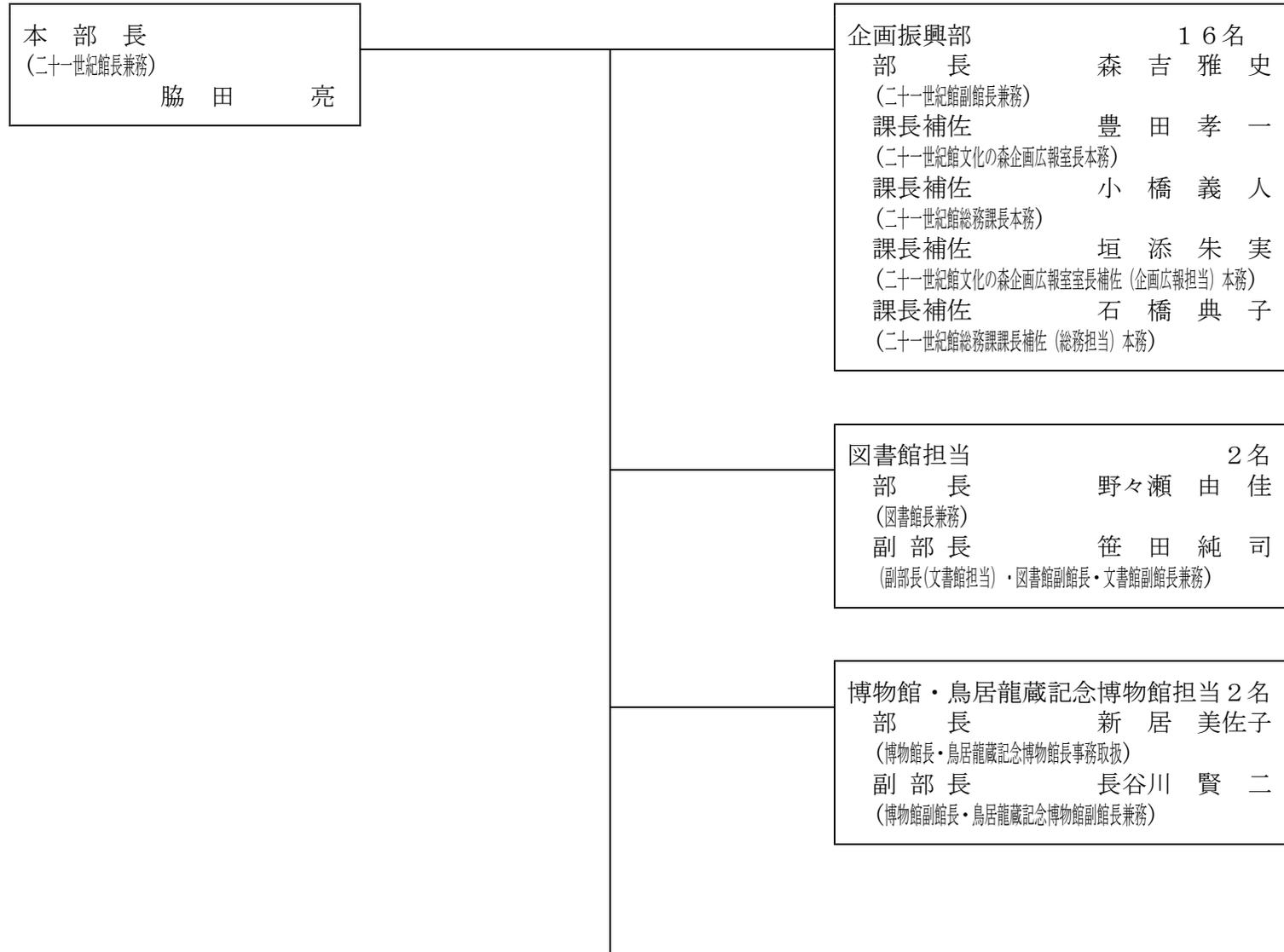
地域住民の参画により放課後等における安全で安心な体験活動や学習を行う場づくりを推進するとともに、学校を支援する活動を推進する。また、家庭教育の次世代を担う者に対して家庭教育への参画を推進する。

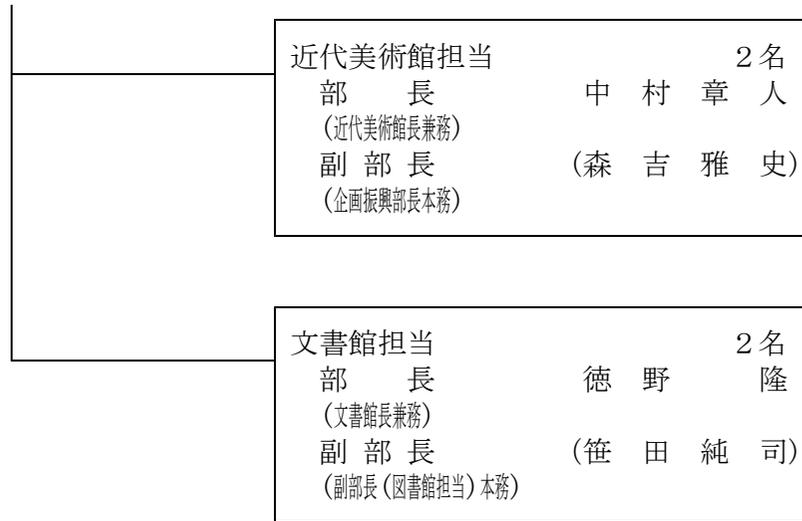
文化の森振興本部

1 組織図及び事務分掌

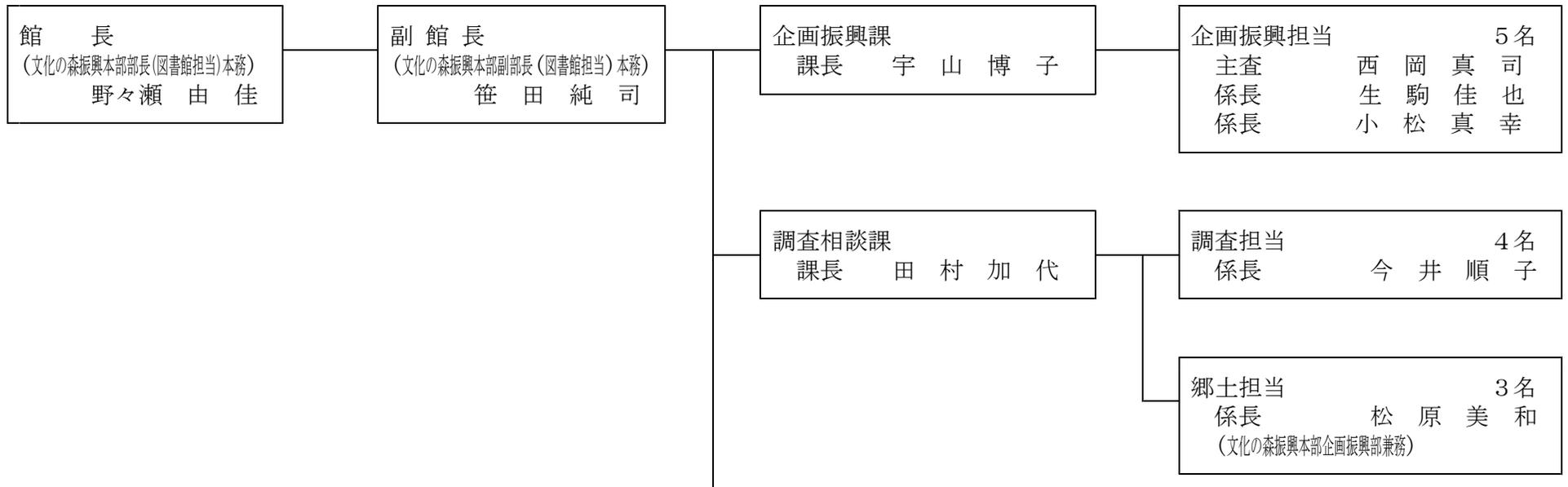
(1) 組織図

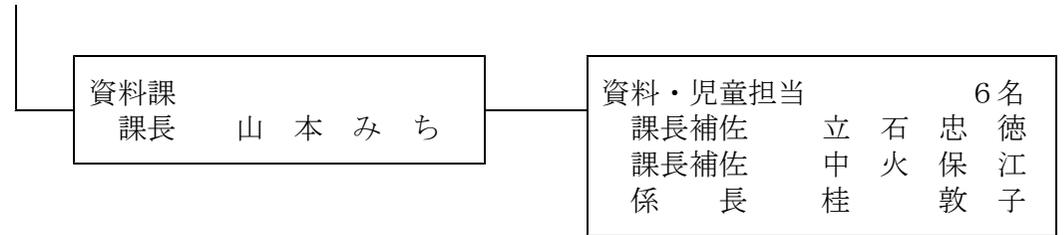
ア 文化の森振興本部 職員総数 25名 (うち17名兼務)



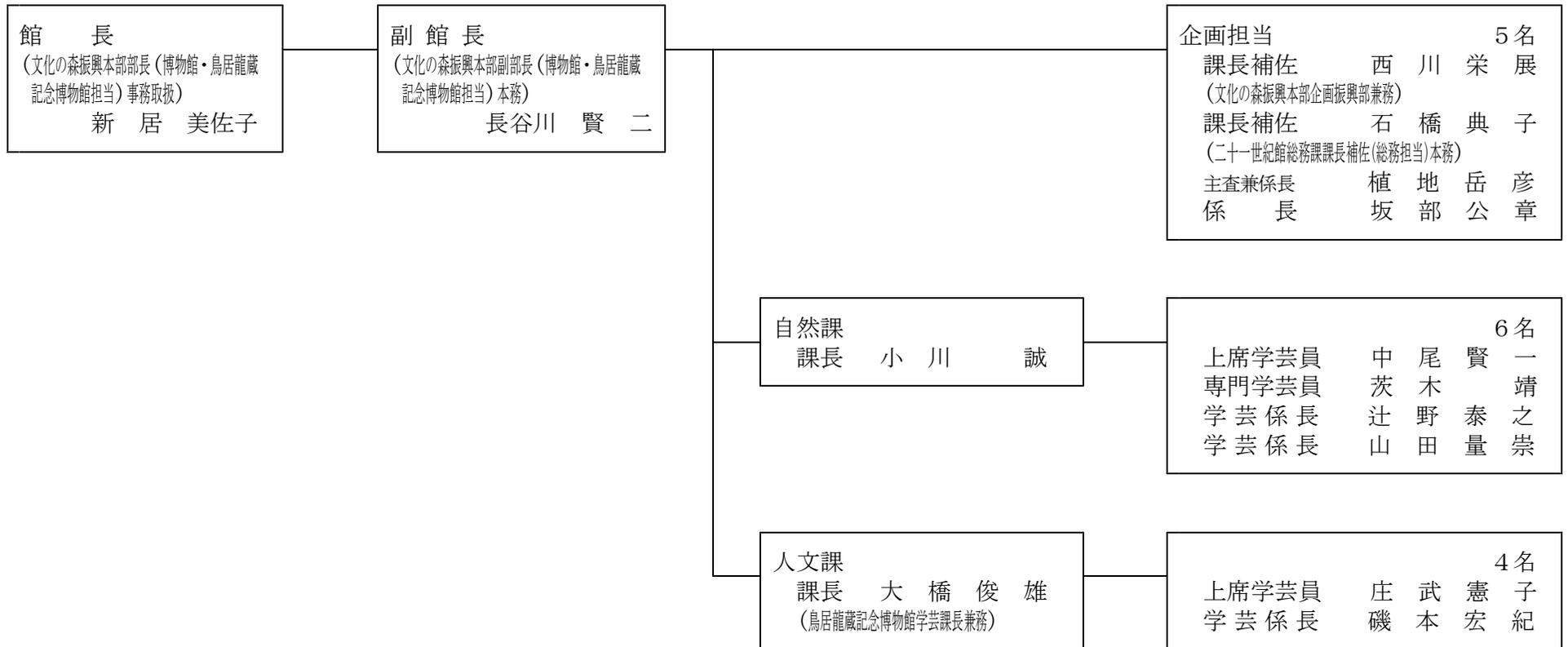


イ (7) 図書館職員総数 23名 (うち2名兼務)

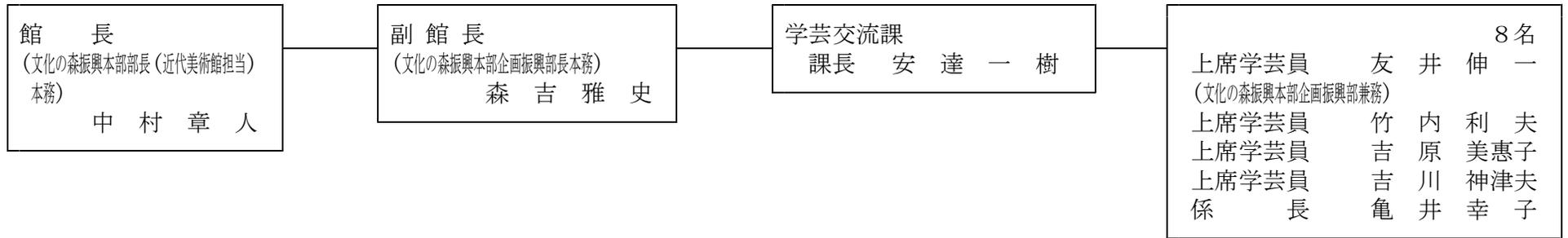




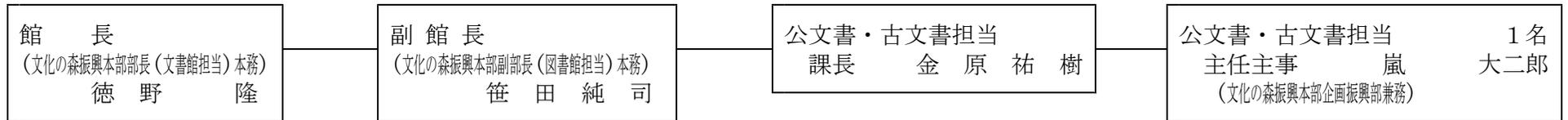
(イ) 博物館職員総数 19名 (うち4名兼務)



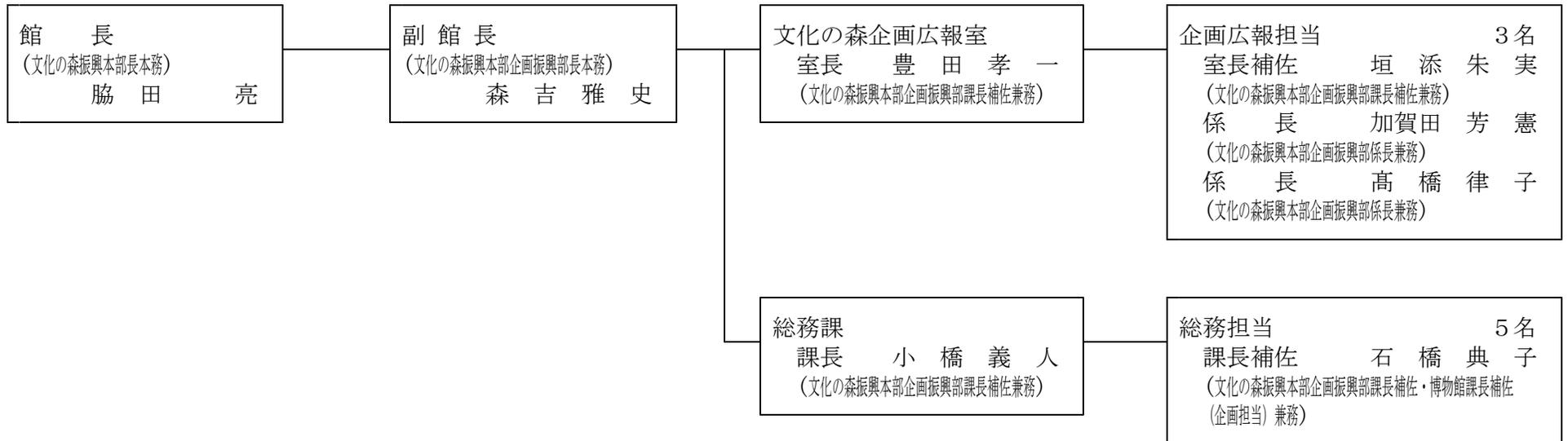
(ウ) 近代美術館 職員総数 11名 (うち2名兼務)



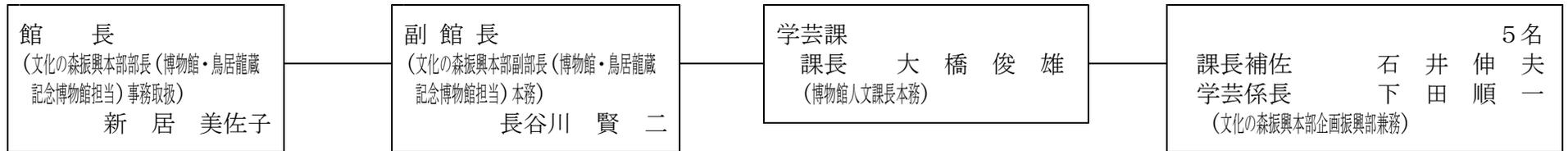
(エ) 文書館 職員総数 4名 (うち2名兼務)



(オ) 二十一世紀館 職員総数 12名 (うち2名兼務)



(カ) 鳥居龍蔵記念博物館 職員総数 8名 (うち6名兼務)



(2) 事務分掌

(文化の森振興本部)

本部長

脇田 亮

担当名	分掌事務	担当者名
企画振興部	1 文化の森の企画及び運営に関する総合調整。	部長 森吉雅史
図書館担当	1 図書館に関すること。	部長 野々瀬由佳
博物館・鳥居龍蔵 記念博物館担当	1 博物館に関すること。 2 鳥居龍蔵記念博物館に関すること。	部長 新居美佐子
近代美術館担当	1 近代美術館に関すること。	部長 中村章人
文書館担当	1 文書館に関すること。	部長 徳野隆

2 令和元年度歳入歳出予算の総括

(1) 一般会計

(単位：千円)

科目 (目)	元年度	前年度		比較		財源内訳							
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B ×100	特定財源					一般財源		
						国支出金	使用料 手数料	寄附金	繰入金	諸収入		地方債	
計画調査費	17,800	17,000	17,000	800	104.7	8,900							8,900
文化の森総合公園文化施設費	718,398	643,895	707,786	74,503	111.6		16,349	1,000	292,000	44,462	54,000		310,587
計	736,198	660,895	724,786	75,303	111.4	8,900	16,349	1,000	292,000	44,462	54,000		319,487

3 繰越明許費の状況

(1) 一般会計

(単位：千円)

科目 (目)	繰越額	事業名及び繰越理由
文化の森総合公園文化施設費	23,825	博物館運営費 計画に関する諸条件
計	23,825	

4 重点事業

(1) 文化施設相互間の連携

文化の森は、都市公園の中に、あわ文化発信拠点として図書館、博物館、近代美術館、文書館、二十一世紀館、鳥居龍蔵記念博物館の各文化施設を一体的に整備した全国的にも例のない総合公園であるという特性を活かし、各文化施設相互間の連携を図り、相乗的な効果が発揮できるよう円滑な運営に努める。

(2) 機能充実による魅力度の向上

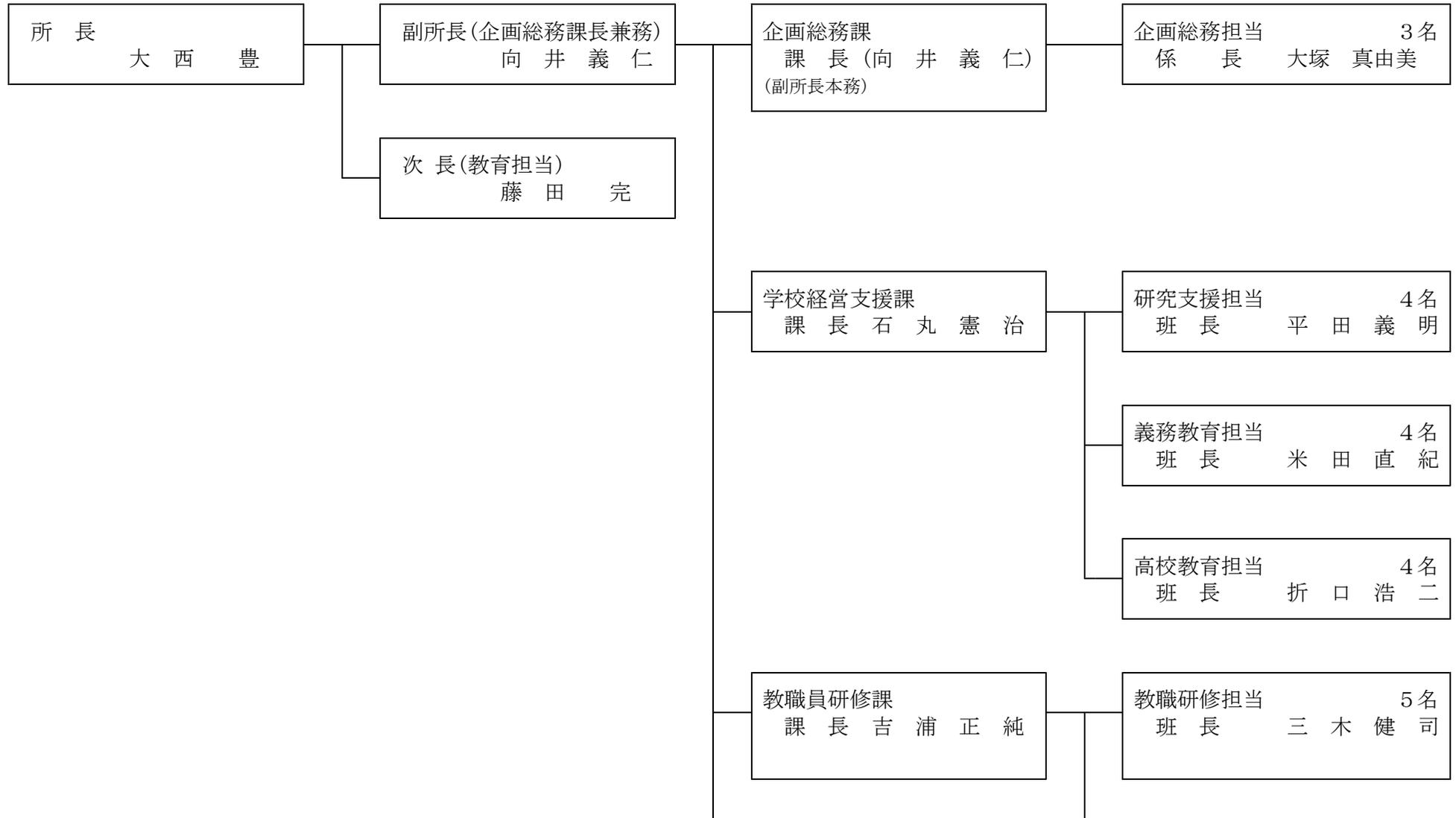
2020年に開園30周年を迎えるにあたり、県立博物館の新未来型展示や資料のデジタル化、長寿命化計画に基づく施設改修など、一層の魅力度の向上を図るとともに、創意工夫を懲らした企画展や展覧会を開催し、「優れた文化・芸術に直接触れる場」として、県民の文化芸術活動を積極的に支援する。

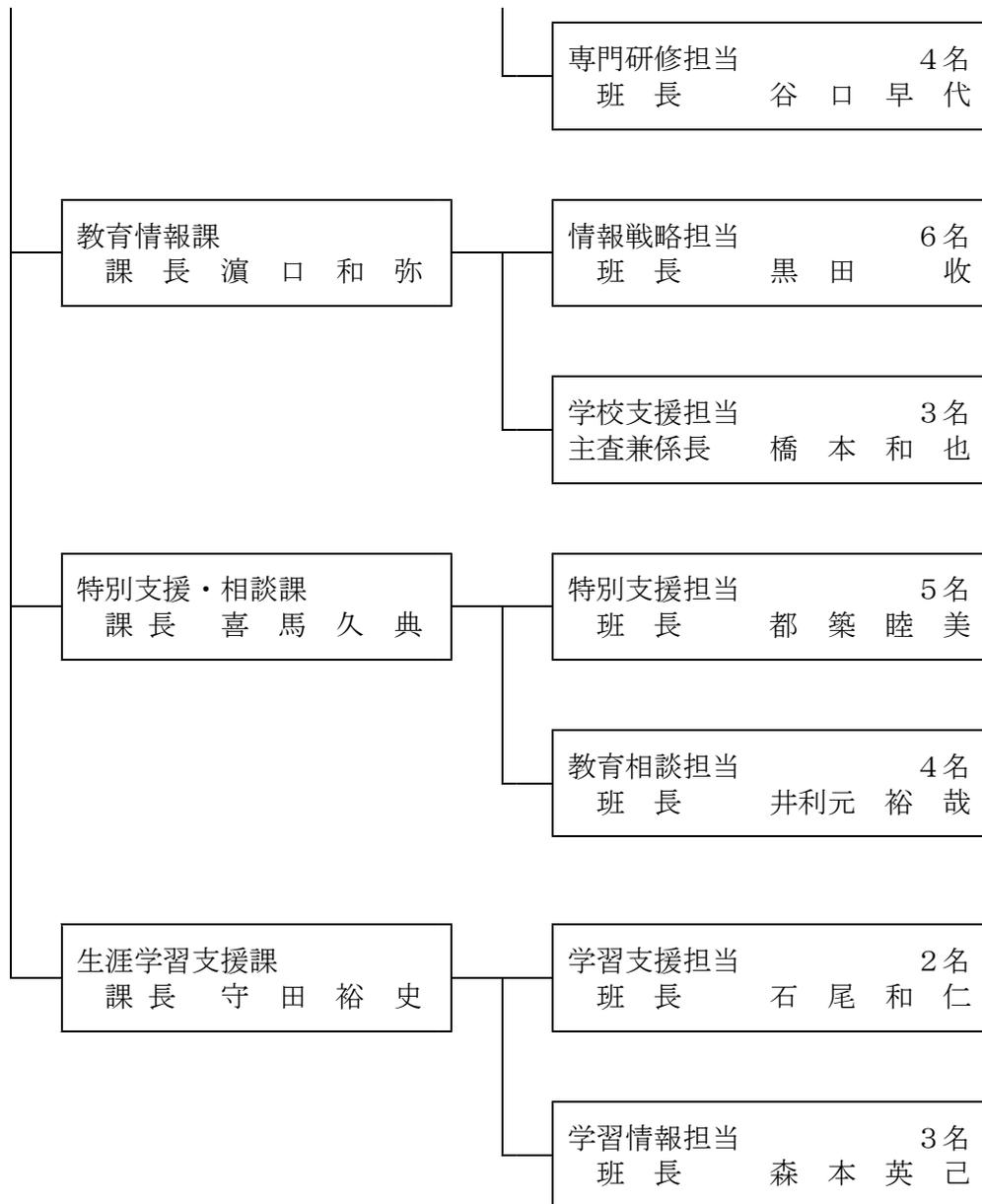
総合教育センター

1 組織図及び事務分掌

(1) 組織図

職員総数 55名





(2) 事務分掌

所 長 大 西 豊
 副 所 長 向 井 義 仁
 (企画総務課長兼務)
 次 長(教育担当) 藤 田 完

課名	担 当 名	分 掌 事 務	担 当 者 名
企画総務課		課事務の総括	課 長 (向 井 義 仁) (副所長本務)
	企画総務担当	1 企画総務事務の総括に関する事。 2 議会对応業務に関する事。 3 研修業務(事務職員, 技師, 司書)に関する事。	係 長 大 塚 真由美
学校経営支援課		課事務の総括	課 長 石 丸 憲 治
	研究支援担当	1 研究支援担当事務総括に関する事。 2 大学と委員会との連携・連絡協議会に関する事。 3 とくしま科学技術アカデミーに関する事。	班 長 平 田 義 明
	義務教育担当	1 義務教育担当事務総括に関する事。 2 学力向上研修に関する事。 3 徳島県学力ステップアップテストに関する事。	班 長 米 田 直 紀
	高校教育担当	1 高校教育担当事務総括に関する事。 2 とくしま英語教育イノベーション研修に関する事。 3 大学・研究機関等研修に関する事。	班 長 折 口 浩 二

課名	担当名	分掌事務	担当者名
教職員研修課		課事務の総括	課長 吉浦正純
	教職研修担当	1 教職研修担当事務の総括に関する事。 2 研修の全体計画に関する事。 3 とくしま教員育成指標に関する事。	班長 三木健司
	専門研修担当	1 専門研修担当事務の総括に関する事。 2 芸術教育実技講座に関する事。 3 食育推進業務に関する事。	班長 谷口早代
教育情報課		課事務の総括	課長 濱口和弥
	情報戦略担当	1 情報教育施策の計画・調整等に関する事。 2 情報教育研修に関する事。 3 情報セキュリティ業務に関する事。	班長 黒田 收
	学校支援担当	1 教育情報ネットワークの管理・運用業務に関する事。 2 学校支援システム等の管理・運用業務に関する事。 3 学校情報化推進に関する事。	主査兼係長 橋本和也
特別支援・相談課		課事務の総括	課長 喜馬久典
	特別支援担当	1 特別支援担当業務の調整に関する事。 2 インクルーシブ教育システム構築に関する事。 3 特別支援教育の研修に関する事。	班長 都築睦美
	教育相談担当	1 教育相談担当業務の調整に関する事。 2 教育相談の研修に関する事。 3 児童生徒の心のサポート体制作り推進事業に関する事。	班長 井利元裕哉

課名	担当名	分掌事務	担当者名
生涯学習支援課		課事務の総括	課長 守田裕史
	学習支援担当	1 学習支援担当事務の総括に関する事。 2 学校防災人材育成講座に関する事。 3 ファミリー体験学習推進プロジェクトに関する事。	班長 石尾和仁
	学習情報担当	1 学習情報担当事務の総括に関する事。 2 徳島県立総合大学校本部主催講座に関する事。 3 新未来とくしま講座に関する事。	班長 森本英己

2 重点事業

(1) 教職員研修の充実

教員育成指標を踏まえてキャリアステージに応じた研修の実施体系を確立するとともに、専門的な知識や技能を習得するための研修、今日的な教育課題に対応した研修等を実施し、教育者としての教職員の資質・能力の向上を図る。

(2) 教育の情報化の推進

教員のICT活用指導力向上のための研修の充実を図るとともに、教科指導等におけるICT活用支援、プログラミング教育及び情報モラル教育の充実、校務の情報化、学校情報セキュリティの確保など教育の情報化の推進を図る。

(3) 相談機能の充実

多様化する教育相談に対して、専門家等との連携による各種相談会の開催、不登校やひきこもり傾向にある児童生徒への居場所の提供や訪問による支援等を展開するとともに、相談対応力を高める教員研修を実施し、課題を抱える子どもへの相談機能の充実を図る。

(4) 生涯学習の推進

多様な学習機会の提供や生涯学習情報システムを活用した積極的な広報活動を展開するとともに、家庭や地域の教育力向上、生涯学習のリーダー養成を目指した講座の充実を図る。